

令和5年度 業務実績報告書

令和6年6月



地方独立行政法人

岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況 令和5年4月1日現在

	氏 名	役 職
理事長	近藤 泰三	院 長
副理事長	後藤 賢也	副院長兼事務局長
理事	竹田 明宏	副院長兼産婦人科統括部長
理事	梶川 真樹	副院長兼外科統括部長
理事	日比野 剛	副院長兼内科統括部長
理事	東 智美	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカ㈱代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

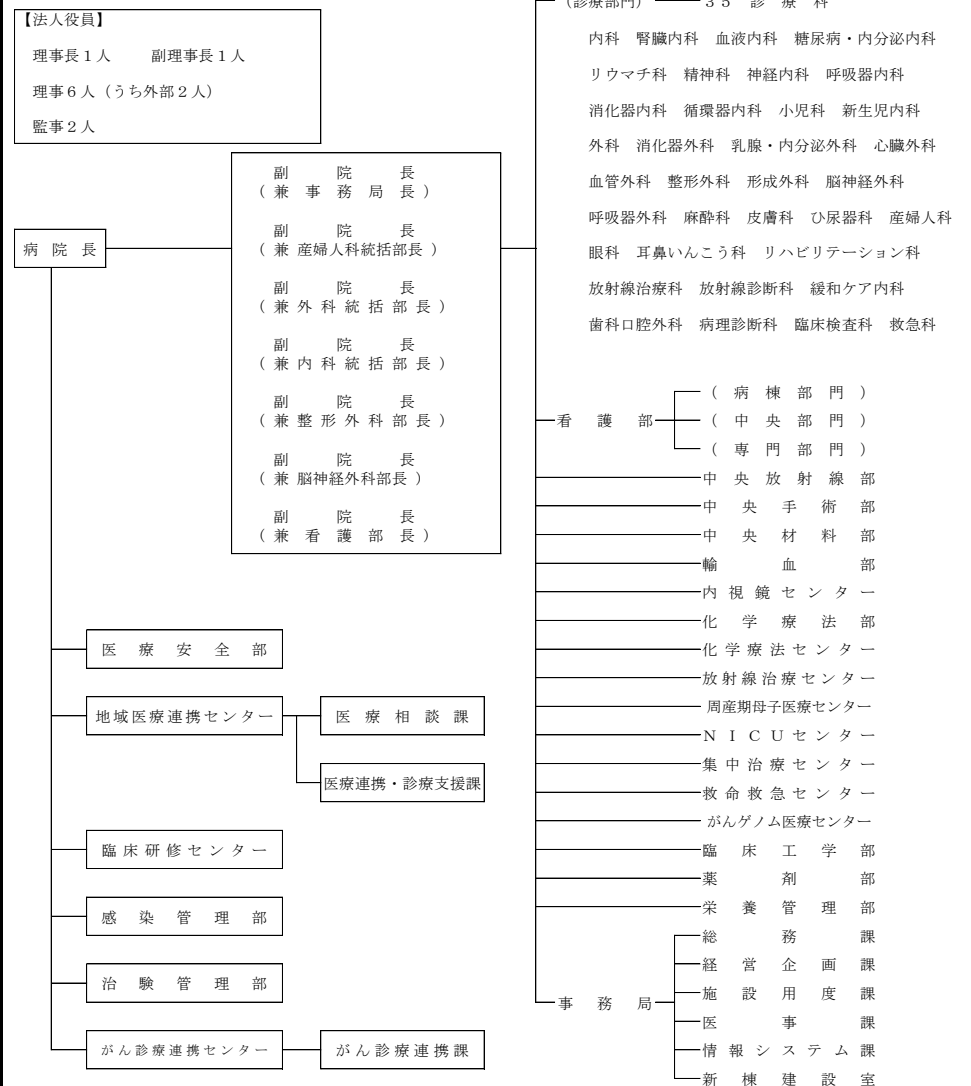
(5) 職員数(令和5年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	172	1	173
看護師	464	194	658
コメディカル	205	23	228
事務等	61	119	180
合計	902	337	1,239

(6) 組織図

令和5年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、東濃圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高精度放射線治療装置の充実による先進的かつ効果的な治療の実施、院内保育施設の移転新築による職員の就労環境の整備、経常収支比率100%以上を達成するなど着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、東濃地域の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆中央診療棟の建替えの推進

昭和56年及び59年に建てられた中央診療棟は築30年以上を経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（水道など）老朽化などが深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいと、早急な対応が求められる。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想、平成28年度に基本計画、平成30年6月に基本設計、令和元年8月に実施設計を策定した。令和3年7月の入札を経て、令和3年9月に建設工事に着手し、令和6年1月に竣工した。今後は、令和6年4月の開設に向けて進めていく。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県立多治見病院

(2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MR I棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成29年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver1.1）の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）
令和4年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver2.0）の認定取得
〃	10月	病床数を561床へ変更（精神科病床9床廃止）
令和5年	1月	病床数を553床へ変更（一般病床8床廃止）
令和6年	1月	新中央診療棟完成

(4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救急医療 / 周産期医療 / がん医療 / 精神科医療・感染症医療 / 緩和ケア / レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実
診療科目	内科 腎臓内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 リウマチ科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 小児科 新生児内科 外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 心臓外科 血管外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 呼吸器外科 麻酔科 皮膚科 ひ尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線治療科 放射線診断科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 病理診断科 臨床検査科 救急科
病床数	553床 （一般501床：結核13床：精神33床：感染症6床）
年間延べ患者数 （令和5年度）	入院 : 139,020人 外来 : 256,935人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、医療需要などの将来予測を踏まえながら診療事業を推進した。

より質の高い医療の提供のために、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、ICT（情報通信技術）の活用、入院支援の充実、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上について、施設改修や患者給食の向上による院内環境の整備、よろず相談、がん相談等の実施による相談体制の充実、患者の紹介、逆紹介の推進等を実施した。また、病院広報誌や地域情報誌、SNS等において積極的な情報発信を展開したほか、患者や周辺住民からの病院運営に関する意見を反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「岐阜県立多治見病院運営協議会」を開催し、委員らとの意見交換を行った。

診療体制の充実について、入院前や入院初期に介入することで、転院や早期退院の問題となる事象を速やかに把握し、在院日数の短縮を図った。また、医療連携推進協議会等を開催し、地域医師会や近隣の医療機関と情報交換を行い、患者動向や医療ニーズの把握に努めた。

地域医療支援病院として、訪問活動を通じて近隣医療機関との役割分担の明確化と連携強化を図っており、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持した。（紹介率 74.8%、逆紹介率 98.2%）

重点的に取り組む医療として、がん医療においては、引き続き高精度放射線治療装置の2台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等、正確で質の高い放射線治療を提供した。また、県内で数少ない造血幹細胞移植施設として稼働を始め、複数例移植を行った。救急医療においては、RRS（院内迅速対応システム）の試験運用を、12月から整形外科病棟をモデル病棟として開始した。レスパイトケアのための短期入所施設の整備では、新中央診療棟の5階病棟に医療的ケア児を対象とした短期入所に対応可能な病室を整備した。また、医師、看護師、事務職員で構成したプロジェクトチームで、他病院の視察等を実施するなど詳細検討を行うとともに、令和6年度内に運用開始できるよう、関係機関への事務手続き等を開始した。

1-2 調査研究事業

臨床共同研究について、関連大学等からの依頼に積極的に取り組んだ。

診療に関する情報は分析・集計した上で一元的に管理し、各診療科医師や各部門からの要望に応じ、必要な医療情報を提供した。また、各種医療データを活用した集計データを管理会議や診療報酬委員会へ報告し、病院経営や研究支援に活用した。

「QI事業」には引き続き参加し、データの提出後、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会へ報告し、医療の質の向上を図った。

1-3 教育研修事業

内科領域、外科領域及び精神科領域において、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科領域で4名、外科領域で1名を採用した。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対して、病院実習の実施のほか、救急入院後の事後検証会を定期的に開催するなど医療技術の向上を支援した。

県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。

1-4 地域支援事業

開業医への訪問活動を通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進を図るとともに、国民健康保険上矢作病院、土岐市立総合病院へ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

多治見市医師会主催の東濃医学会学術集会において、当院長が座長を務め、当院から8演題発表するなど地域医療水準の向上に寄与した。

大学、専門学校からの要請に応じ、講師の派遣や実習生の受け入れを行った。また、高校生を対象にした「ふれあい看護体験」や、多治見市内の中学生の職場体験に各部署で対応するなど、社会的な要請に対し積極的に協力した。

多治見市のバロー文化ホールで健康フェスタを開催し、体験ブースや病院紹介ブースの設置、外部講師による市民公開講座を実施し、保健医療情報の積極的な発信に努めた。

1-5 災害等発生時における医療救護

令和6年能登半島地震の被災地へDMAT、DPATをそれぞれ派遣し、医療救護活動に貢献した。

新中央診療棟の整備について、免震構造としたほか、水害対策として放射線機器の多くを2階に設置した。また、岐阜県防災ヘリコプターが離着陸可能なヘリポートを、新中央診療棟の屋上階に整備したほか、災害時を想定したインフラ強化と省エネを目的に都市ガスを燃料とする自家発電設備（ガスコージェネレーションシステム）を新中央診療棟建設に併せて増設した。

大規模災害時にも通信インフラが途切えないよう、光回線の経路を冗長化できる機器を導入し、拠点機能の充実を図った。

感染症指定医療機関として、近隣の医療機関や保健所と連携し、感染症に係る情報共有や感染対策の支援ができる体制整備を行った。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

組織体制について、診療体制の更なる充実を図るため、内科系では不整脈科を新設し、外科系では内視鏡外科、肝胆脾外科をそれぞれ新設した。

コンプライアンスの徹底について、新規採用職員へ服務と倫理研修を実施したほか、全職員に対しコンプライアンス研修として、個人情報保護とハラスメント防止に係る動画による研修を実施した。

適切な情報管理について、無線LANコントローラーをセキュリティレベルの高いものに更新するなど対策を強化した。また、ネットワークの監視システムについて、リモートにより即時対応が可能な体制を構築した。

多様な契約手法の導入について、新中央診療棟の契約にあたり、物品調達や業務委託の性質に合わせ効果的な手法を選択し、価格を抑制しつつ品質の確保が可能な調達を図った。また、高度医療機器について、契約期間満了後に所有権が病院に移るリース契約や、購入後のメンテナンス費用も含めた複数年契約を採用するなど多様な契約手法を導入した。

収入の確保について、未収が発生する可能性のある患者の対応を、事前に医事担当や医療相談担当、各市の行政担当者と連携を図り、未収防止に努めた。

費用の削減について、診療材料の共同購入や薬品の薬価交渉による費用の削減や、後発医薬品の使用率を高水準（93.17%）で維持する等により、節減に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院について、入院診療単価は昨年度と比べ増加したが、入院患者数が減少となり、入院収益は昨年度比2.2%（2.6億円）の減となった。外来については、外来患者数は減少したが、外来診療単価が増加したため、外来収益は昨年度比6.2%（3.5億円）の増となった。このため、医業収益においては、昨年度比0.4%（0.8億円）の増となった。収益全体では、補助金等収益の減により昨年度比2.9%（6.1億円）の減となった。また、計画に比べ医業収益において7.2%（14.2億円）の減、収益全体で5.3%（11.4億円）の減となった。

[費用] 薬品費、診療材料費の増により、昨年度と比べ医業費用で2.4%（4.8億円）の増となった。費用全体では、控除対象外消費税等の増により昨年度比10.3%（22.1億円）の増となった。また、計画に比べ医業費用において0.3%（0.6億円）の増、費用全体では2.0%（4.7億円）の増となった。

この結果、単年度収支は35億1千万円の赤字となり、経常収支比率も85.2%で、昨年に引き続き目標である100%以上を達成することができなかった。職員給与費対医業収益比率は、目標50%以下に対して、53.5%となった。業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) × 100

営業収益	20,084,121 千円
営業外収益	122,476 千円
営業費用	21,017,254 千円
営業外費用	2,700,005 千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上について、院長、副院長を構成員とする働き方改革会議を毎月実施し、各部門ごとの時間外勤務の状況や各医師の時間外勤務の推移を把握し、長時間労働該当医師の診療科部長に対し文書で注意喚起を行った。また、年次取得が5日未満の職員への取得促進に係る注意喚起を各所属に行った。

職員のモチベーション向上に資する取組について、夜間看護割増手当を新設し、モチベーションの向上に努めた。

職員の健康管理について、前期定期健康診断とあわせて「ストレスチェック」を実施した。また、定期健康診断や人間ドックの確実な受診を促し、要精密検査等の指示のあった職員に対するフォローアップを行い、健康管理対策の充実に努めた。

新中央診療棟整備について、天候不良や資材調達の難航等により、当初の予定から1カ月遅れたが1月25日に竣工した。

新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、医療需要、費用対効果、医療技術の進展等を総合的に判断し、リース等の手法を活用しながら計画的な更新、整備を行った。

法人が負担する債務の償還について、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅳ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅳ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅳ	
1-1-5 重点的に取組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅳ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅳ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅳ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅳ	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅳ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	Ⅲ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅳ	

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	17	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	18	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの運用	19	Ⅲ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	20	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	21	Ⅳ	
2-1-6 適切な情報管理	22	Ⅳ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	23	Ⅳ	
2-2-2 収入の確保	24	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	25	Ⅲ	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	26	Ⅱ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	27	Ⅳ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	28	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	29	Ⅳ	
8-4 内部統制の充実強化	30	Ⅲ	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	31	Ⅲ	
8-6 年度計画における主な計画数値	32	Ⅲ	
8-7 積立金の使途	33	Ⅲ	

Ⅳ 財務情報及び人員に関する情報

指 標	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
経常収益 (千円)	19,022,733	19,606,644	20,844,128	20,816,367	20,206,597
経常費用 (千円)	19,921,438	20,195,136	20,959,164	21,494,821	23,717,259
経常利益 (千円)	▲898,705	▲588,492	▲115,036	▲678,454	▲3,510,662
従事人員数 (人)	1,242	1,287	1,265	1,245	1,239

Ⅴ 項目別の状況

主な指標（3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画）								
	指標	達成目標（中期目標・中期計画）		R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
			(参考) 前中期目標最終年度値					
	経常収支比率	100%を超過	95.5%	95.5%	97.1%	99.5%	96.8%	85.2%
	医業収支比率	100%を超過	96.7%	96.7%	91.3%	95.5%	91.8%	90.0%
	職員給与費対医業収支比率	50%未満	54.4%	54.4%	58.0%	53.0%	54.2%	53.5%

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業 東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。 ※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用を努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。 ※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。
------	--

	※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。 ※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやＩＣＴ（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。 ※ 重点的に取り組む医療 高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 救急医療については、地域の医療機関等との連携の推進や新中央診療棟の整備に伴う高度な医療の提供等により、東濃圏域の中核病院として重症救急患者への対応を強化すること。 がん医療については、新たに整備した高精度放射線治療装置などによる治療に加え、患者の就労も含めた相談支援の充実を図るなど、拠点病院としての機能を強化すること。また、地域の医療機関等との連携の強化や、緩和ケアを提供できる人材の育成・確保等により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。 また、新中央診療棟整備に合わせて、レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の整備をすること。
--	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																						
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計画的な更新・整備 2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進	1 高度医療機器の計画的な更新・整備 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の各部門とヒアリングを実施し、更新・整備を行った。 【更新・整備した主な機器】 <table><tr><th>機器名</th><th>整備目的・用途</th></tr><tr><td>ハイブリッド手術室用撮影装置</td><td>手術室に固定式のX線透視撮影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D撮影が可能。血管内治療と外科的手術を同時に実施でき、患者の負担が軽減するほか、血管内治療から外科治療に迅速に変更できるため、先進的な手術を安全に実施可能となる。</td></tr><tr><td>手術支援ロボット ダビンチ</td><td>低侵襲で術後の痛みは軽く、回復も早い傾向がある。ロボットならではの自由度の高い動きが可能となり、体内を3Dでかつ肉眼の10～15倍に拡大して見ながら手術を行うことができ、今まで以上に確実な剥離や切除が可能</td></tr></table>	機器名	整備目的・用途	ハイブリッド手術室用撮影装置	手術室に固定式のX線透視撮影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D撮影が可能。血管内治療と外科的手術を同時に実施でき、患者の負担が軽減するほか、血管内治療から外科治療に迅速に変更できるため、先進的な手術を安全に実施可能となる。	手術支援ロボット ダビンチ	低侵襲で術後の痛みは軽く、回復も早い傾向がある。ロボットならではの自由度の高い動きが可能となり、体内を3Dでかつ肉眼の10～15倍に拡大して見ながら手術を行うことができ、今まで以上に確実な剥離や切除が可能	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 - 岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による研修を実施した。（計20回開催） - 岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に上級医3名が参加した。 - 専攻医研修プログラムの基幹施設（内科・外科・精神科領域）としてプログラムの見直しを行い、日本専門医機構の承認を得た。 4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進 - 看護師1名が特定行為看護師研修受講中であり、令和6年6月末に終了予定である。なお、3名が特定行為看護師研修を修了済みである。 【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分</th><th>分野</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td rowspan="4">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>がん化学療法看護</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr></table>	区分	分野	R1	R2	R3	R4	R5	認定	皮膚・排泄ケア	3	3	3	2	2	集中ケア	2	2	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	2	3	3	3	3	IV	新中央診療棟の開設に向けた高度医療機器の整備や、看護師確保対策の実績を評価。
機器名	整備目的・用途																																										
ハイブリッド手術室用撮影装置	手術室に固定式のX線透視撮影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D撮影が可能。血管内治療と外科的手術を同時に実施でき、患者の負担が軽減するほか、血管内治療から外科治療に迅速に変更できるため、先進的な手術を安全に実施可能となる。																																										
手術支援ロボット ダビンチ	低侵襲で術後の痛みは軽く、回復も早い傾向がある。ロボットならではの自由度の高い動きが可能となり、体内を3Dでかつ肉眼の10～15倍に拡大して見ながら手術を行うことができ、今まで以上に確実な剥離や切除が可能																																										
区分	分野	R1	R2	R3	R4	R5																																					
認定	皮膚・排泄ケア	3	3	3	2	2																																					
	集中ケア	2	2	2	2	2																																					
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																					
	がん化学療法看護	2	3	3	3	3																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策（●）										自己 評価	自己評価理由																																							
5	コメディカルに対する専門研修の実施	MRI 撮影装置	となる。					がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																												
6	専門性を発揮したチーム医療の推進		強力な磁石を用いた撮影装置で、放射線を使わず磁石と電磁場の力を利用して身体の臓器や血管を色々な断面で撮影し、診療に有益な画像情報を提供できる。新中央診療棟開設に伴い1.5T-MRI 装置を増設した。					感染管理	2	2	2	2	2																																												
7	ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用							新生児集中ケア	1	1	1	1	1																																												
8	入院支援の充実							摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																												
9	医療事故防止等医療安全対策の充実							救急看護（クリティカルケア看護へ移行）	1	1	1	1	1																																												
10	院内感染防止対策の充実	2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・ 看護師・助産師の確保について、就職ガイダンスへの参加、修学資金や就職準備資金貸付金額の増額、インターンシップの実施、院内の若手職員を中心とした「看護職員等確保・離職防止対策チーム」による活動等を幅広く実施し、昨年度から7名増加した。また、就業環境の改善により、離職防止についても一定の成果が出ており、引き続き看護師確保に向け取り組んでいく。 ・ 福利厚生対策として、院内保育施設にて夜間保育・休日保育・病児保育を実施した。夜間保育（木曜日）利用者数は延べ13人、病児保育利用者数は延べ79人、休日保育実施日数は62日。 【医療従事者数（常勤）】（各年度末時点） 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>医師</td><td>136</td><td>151</td><td>156</td><td>165</td><td>163</td></tr><tr><td>看護師・助産師</td><td>476</td><td>490</td><td>477</td><td>446</td><td>453</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>185</td><td>199</td><td>199</td><td>198</td><td>201</td></tr></table> 6 専門性を発揮したチーム医療の推進 ・ RRS（院内迅速対応システム）の試験運用について、12月から整形外科病棟をモデル病棟として開始した。 ・ クリニカルパスの新規登録を進め、新たに20件のクリニカルパスが登録された。また、クリニカルパスの使用率が50.3%と50%を超える実績となった。引き続きバリエーションのデータ収集に努めており、委員会での医療の質向上を図っていく。 【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件 <table><tr><th>診療科名\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>産婦人科</td><td>17</td><td>19</td><td>19</td><td>16</td><td>21</td></tr></table>					区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医師	136	151	156	165	163	看護師・助産師	476	490	477	446	453	コメディカル	185	199	199	198	201	診療科名\年度	R1	R2	R3	R4	R5	産婦人科	17	19	19	16	21	慢性心不全看護	1	1	1	1	1									
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																				
医師	136	151	156	165	163																																																				
看護師・助産師	476	490	477	446	453																																																				
コメディカル	185	199	199	198	201																																																				
診療科名\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																				
産婦人科	17	19	19	16	21																																																				
						脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																														
						糖尿病看護	1	2	2	2	2																																														
						認知症看護	1	1	2	2	2																																														
						訪問看護	1	1	1	1	1																																														
						手術看護	1	1	1	1	1																																														
						透析看護	1	1	1	1	1																																														
						心不全看護	—	—	1	1	1																																														
						小 計	21	23	25	24	24																																														
						専門																																																			
						がん看護	2	3	3	3	3																																														
						急性・救急看護	1	1	1	1	1																																														
						認定看護管理者	1	1	1	1	1																																														
						5 コメディカルに対する専門研修の実施 ・ 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。																																																			
						【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】																																																			
						項目	資格取得・認定件数(件)					学会研修会等延べ参加者数(人)																																													
						職種	R1	R2	R3	R4	R5	区分	R1	R2	R3	R4	R5																																								
						薬剤師	8	6	9	3	8	参加	70	42	74	102	47																																								
												発表	5	2	2	12	5																																								
						放射線技師	6	3	8	33	15	参加	251	213	307	144	94																																								
												発表	19	5	20	18	12																																								
						臨床検査技師	7	2	3	3	6	参加	38	9	28	56	68																																								
												発表	4	0	0	3	4																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策（●）												自己 評価	自己評価理由																																																																															
		<table><tr><td>整形外科</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>呼吸器科</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>8</td></tr><tr><td>外科・消化器外科</td><td>12</td><td>11</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td></tr><tr><td>循環器科</td><td>17</td><td>22</td><td>23</td><td>20</td><td>22</td></tr><tr><td>その他</td><td>68</td><td>74</td><td>76</td><td>90</td><td>89</td></tr><tr><td>合 計</td><td>128</td><td>142</td><td>147</td><td>155</td><td>165</td></tr></table> 【クリニカルパス利用率】 <table><tr><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>46.6%</td><td>45.3%</td><td>45.0%</td><td>49.9%</td><td>50.3%</td></tr></table>	整形外科	12	12	12	12	12	呼吸器科	2	4	4	4	8	外科・消化器外科	12	11	13	13	13	循環器科	17	22	23	20	22	その他	68	74	76	90	89	合 計	128	142	147	155	165	R1	R2	R3	R4	R5	46.6%	45.3%	45.0%	49.9%	50.3%	<table><tr><td>臨床工 学技士</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>7</td><td>12</td><td>参加 発表</td><td>16 1</td><td>6 0</td><td>22 0</td><td>31 4</td><td>37 2</td></tr><tr><td>リハビ リ技師</td><td>19</td><td>20</td><td>22</td><td>33</td><td>28</td><td>参加 発表</td><td>90 8</td><td>19 0</td><td>41 1</td><td>85 14</td><td>74 7</td></tr><tr><td>管理栄 養士</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>3</td><td>参加 発表</td><td>12 1</td><td>1 0</td><td>1 0</td><td>14 1</td><td>28 1</td></tr><tr><td>合 計</td><td>45</td><td>35</td><td>44</td><td>83</td><td>72</td><td>参加 発表</td><td>477 38</td><td>290 7</td><td>473 23</td><td>432 52</td><td>301 26</td></tr></table> 7 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 ・ たじみのネット（地域医療連携ネットワーク）を引き続き近隣医療機関へPRを行い活用を促進した結果、昨年度より登録医師が 2 名増加し、登録患者は64名増加した。 ○登録医療機関：25 施設 ○登録医師：39 名 ○登録患者：115 名 8 入退院支援の充実 ・ 新中央診療棟に設置される患者総合支援センターについて、プロジェクトチームを結成し、会議等により具体的な運用等の検討を行った。 ・ 東濃情報交換会を年3回実施し、地域の関係医療機関や施設、訪問看護ステーション等と情報共有を図った。また、東濃5市を対象に行政訪問を実施し、今後の課題等について検討を行った。 ・ 近隣の医療機関や施設、在宅支援関連機関と連携し、満床で当院に入院できないケースの受け入れを依頼するなど、病床が円滑に利用できるよう努めた。 9 医療事故防止等医療安全対策の充実 ・ 医療安全講演会について、「医療安全の基本」及び「診療録」をテーマとした講演をeラーニングで実施し、今後活用できる内容とした。 ・ 医療安全推進週間の取り組みでは、コミュニケーションをとることで、医療安全の推進を図ることを目的とし、各部署、外来等に標語を掲示することで職員の意識向上を図った。 ・ インシデント事例について、業務改善計画書を記載し、PDCAサイクルを回して評価を行い、医療の見直しを行った。 ・ 医療安全ラウンドを毎月実施し、麻薬の適正使用・保管状況の確認、環境の確認を行い、医療安全予防に努めた。	臨床工 学技士	3	4	2	7	12	参加 発表	16 1	6 0	22 0	31 4	37 2	リハビ リ技師	19	20	22	33	28	参加 発表	90 8	19 0	41 1	85 14	74 7	管理栄 養士	2	0	0	4	3	参加 発表	12 1	1 0	1 0	14 1	28 1	合 計	45	35	44	83	72	参加 発表	477 38	290 7	473 23	432 52	301 26		
整形外科	12	12	12	12	12																																																																																														
呼吸器科	2	4	4	4	8																																																																																														
外科・消化器外科	12	11	13	13	13																																																																																														
循環器科	17	22	23	20	22																																																																																														
その他	68	74	76	90	89																																																																																														
合 計	128	142	147	155	165																																																																																														
R1	R2	R3	R4	R5																																																																																															
46.6%	45.3%	45.0%	49.9%	50.3%																																																																																															
臨床工 学技士	3	4	2	7	12	参加 発表	16 1	6 0	22 0	31 4	37 2																																																																																								
リハビ リ技師	19	20	22	33	28	参加 発表	90 8	19 0	41 1	85 14	74 7																																																																																								
管理栄 養士	2	0	0	4	3	参加 発表	12 1	1 0	1 0	14 1	28 1																																																																																								
合 計	45	35	44	83	72	参加 発表	477 38	290 7	473 23	432 52	301 26																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																	
			・ 医療安全対策地域連携加算 1－1、1－2 施設間合同カンファレンスを実施し、チェックリストによる評価や各病院での取り組み等について意見交換を行うなど、医療安全に係る課題解決に努めた。 ・ 患者誤認について、病院全体での取り組みと位置付け、インシデント事例の内容と件数を、医療安全部会や医療安全管理委員会で報告し、改善策の検討と周知を行った。その結果、患者誤認件数は前年度から 30 件減少した。 【インシデント・アクシデント件数】単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>インシデント</td><td>3,895</td><td>4,007</td><td>4,305</td><td>3,960</td><td>3,354</td></tr><tr><td>アクシデント</td><td>28</td><td>24</td><td>29</td><td>18</td><td>19</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,923</td><td>4,031</td><td>4,334</td><td>3,978</td><td>3,373</td></tr></table> 【医療安全講演会開催実績】単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>参加率 （%）</th></tr><tr><td>・「医療安全の基本を知る」 ①安全を優先させる ②インシデントレポート ③ノンテクニカルスキル ④医療安全の三相</td><td>1,137</td><td>96.7</td></tr><tr><td>・「日常診療のポイント 診療 録・診療記録を中心に “いざ” “まさか” に備えて」</td><td>1,146</td><td>97.6</td></tr></table> 10 院内感染防止対策の充実 ・ 感染防止委員会を毎月開催し、感染の発生状況やAST／ICTの活動報告を行い、注意喚起や感染対策の周知徹底を継続した。また、電子カルテの掲示板や院内メールを活用し、職員への情報提供と注意喚起を行った。 ・ 毎週院内分離菌情報をもとにリスク評価を行い、ラウンドを実施した上で、必要に応じて各部署の所属長等へ指導を行った。また、結果を感染対策委員会、看護部感染対策委員会に報告した。 ・ AST/ICT 通信を隔月で発行し、職員へ情報提供を行った。また、感染対策講演会をeラーニングで年2回開催し、職員の感染対策に対する意識向上を図った。	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	インシデント	3,895	4,007	4,305	3,960	3,354	アクシデント	28	24	29	18	19	合計	3,923	4,031	4,334	3,978	3,373	テーマ（開催日）	参加数	参加率 （%）	・「医療安全の基本を知る」 ①安全を優先させる ②インシデントレポート ③ノンテクニカルスキル ④医療安全の三相	1,137	96.7	・「日常診療のポイント 診療 録・診療記録を中心に “いざ” “まさか” に備えて」	1,146	97.6		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																	
インシデント	3,895	4,007	4,305	3,960	3,354																																	
アクシデント	28	24	29	18	19																																	
合計	3,923	4,031	4,334	3,978	3,373																																	
テーマ（開催日）	参加数	参加率 （%）																																				
・「医療安全の基本を知る」 ①安全を優先させる ②インシデントレポート ③ノンテクニカルスキル ④医療安全の三相	1,137	96.7																																				
・「日常診療のポイント 診療 録・診療記録を中心に “いざ” “まさか” に備えて」	1,146	97.6																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																														
			・ 新型コロナウイルス感染症対策について、適宜マニュアルを更新し、院内へ周知した。 【感染対策教育講演会開催実績】単位：人 <table><thead><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>参加率（%）</th></tr></thead><tbody><tr><td>・感染対策講演 「新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う院内感染対策研修会」 ・AST 講演 「抗菌薬を大事に使おう！AMR に立ち向かうために③」</td><td>1,114 人</td><td>94.0%</td></tr><tr><td>・感染対策講演 「感染対策の概論③標準予防策」 ・AST 講演 「令和5年度第1回 DRIDS 感染症診療の考え方」</td><td>1,116 人</td><td>94.8%</td></tr></tbody></table>	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	・感染対策講演 「新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う院内感染対策研修会」 ・AST 講演 「抗菌薬を大事に使おう！AMR に立ち向かうために③」	1,114 人	94.0%	・感染対策講演 「感染対策の概論③標準予防策」 ・AST 講演 「令和5年度第1回 DRIDS 感染症診療の考え方」	1,116 人	94.8%																																							
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																																	
・感染対策講演 「新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う院内感染対策研修会」 ・AST 講演 「抗菌薬を大事に使おう！AMR に立ち向かうために③」	1,114 人	94.0%																																																	
・感染対策講演 「感染対策の概論③標準予防策」 ・AST 講演 「令和5年度第1回 DRIDS 感染症診療の考え方」	1,116 人	94.8%																																																	
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間の改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	3 医療に関する相談体制の充実 ・ 予定入院患者が、入院前から安心して治療に専念できるよう入院前支援を実施し、昨年度より110件多い1,110件対応した。 ・ よろず相談の対応件数は650件で昨年度より30件増加し、患者やその家族からの医療に関する様々な相談に対応した。 ・ 患者サポートカンファレンスにおいて、昨年度より5件多い132件の症例を検討した。また、患者や家族からの相談や苦情について、速やかに情報収集を行い、検討結果をもとに各部門へ改善を依頼した。 ・ 東濃情報交換会を年3回、東濃地域の病院施設等に勤務する職員が参加して開催し、情報交換を行った。 ・ がん相談支援センターを中心に、がん患者やその家族のニーズに速やかに対応できるよう対応した結果、がん相談対応件数は1,720件と昨年度より279件増加した。 【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】単位：件 <table><thead><tr><th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>かかりつけ医への紹介</td><td>509</td><td>414</td><td>445</td><td>244</td><td>146</td></tr><tr><td>よろず相談</td><td>2,214</td><td>2,432</td><td>2,256</td><td>620</td><td>650</td></tr></tbody></table>	項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	かかりつけ医への紹介	509	414	445	244	146	よろず相談	2,214	2,432	2,256	620	650	1 待ち時間の改善等 ・ 開業医への訪問活動は18件と昨年度より8件増加し、紹介患者獲得や高度医療機器の利用に向け、積極的なPR活動を実施した。 ・ かかりつけ医の紹介件数は減少したが、患者や家族の要望を聞きながら対応し、逆紹介率は98.2%と年度目標の90%を達成できた。 ・ 新中央診療棟における待ち時間対策として、外来診察室や会計窓口の他、生理検査や放射線検査についても呼び出し関連システムを導入する方向で調整し、リハーサルで稼働を確認できたため、今後新中央診療棟開設までに細部の調整を行う。 【平均待ち時間】単位：分 <table><thead><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>12</td><td>—</td><td>19.8</td><td>23</td><td>25.3</td></tr></tbody></table> ※待ち時間は病院全体の時間 【CT、MRI検査件数】単位：件 <table><thead><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>CT件数</td><td>33,727</td><td>31,307</td><td>32,682</td><td>30,348</td><td>31,238</td></tr><tr><td>MRI件数</td><td>10,759</td><td>9,677</td><td>10,366</td><td>10,167</td><td>10,175</td></tr></tbody></table>	R1	R2	R3	R4	R5	12	—	19.8	23	25.3	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	CT件数	33,727	31,307	32,682	30,348	31,238	MRI件数	10,759	9,677	10,366	10,167	10,175	IV	患者満足度の向上や、病院運営の積極的な情報発信について評価。
項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																														
かかりつけ医への紹介	509	414	445	244	146																																														
よろず相談	2,214	2,432	2,256	620	650																																														
R1	R2	R3	R4	R5																																															
12	—	19.8	23	25.3																																															
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																														
CT件数	33,727	31,307	32,682	30,348	31,238																																														
MRI件数	10,759	9,677	10,366	10,167	10,175																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
6	病院運営に関する情報発信及び意見の反映	※よろず相談の業務内容を明確化したことに伴い、R4 から件数減となった。	【手術件数】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>手術室</td><td>4,857</td><td>4,185</td><td>4,509</td><td>4,612</td><td>4,816</td></tr><tr><td>中放内視鏡</td><td>2,912</td><td>2,907</td><td>3,207</td><td>3,228</td><td>3,431</td></tr><tr><td>合 計</td><td>7,769</td><td>7,092</td><td>7,716</td><td>7,840</td><td>8,247</td></tr></table> 2 院内環境の快適性の向上 - 患者からの意見、要望に対し、特に安全にかかわる部分については、速やかな対応を行った。 - 新中央診療棟の運用開始を見据え、委託職員等と運用方法などについて協議や現地確認を行い、準備を進めた。 - 患者給食の質の向上を目指し、毎食の残食調査、年6回の嗜好調査で患者の満足度を調査し、医師・管理栄養士及び栄養管理委員会委員による検食結果と併せて給食委託会社と協議し、献立や食材の見直しを行った。 - 喫食量の低下した患者や低栄養の患者に介入し、食事量増加や低栄養改善を図った。 - 特別食、がん、低栄養、嚥下食患者には栄養指導を行うなど、栄養管理を行った。 - 患者用W i - F i について、ユーザー認証レベルを高くし、セキュリティをより向上させた機器を導入し、運用調整を行った。 【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>栄養指導</td><td>4,585</td><td>5,317</td><td>5,262</td><td>5,042</td><td>4,917</td></tr><tr><td>栄養管理</td><td>5,700</td><td>7,439</td><td>8,691</td><td>8,720</td><td>8,907</td></tr><tr><td>NST介入</td><td>555</td><td>696</td><td>1,240</td><td>1,139</td><td>1,046</td></tr></table> 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 - 治療に関する情報やリスク等について、患者が理解し治療方針等を選択できるように説明書や同意書の整備を行った。 - セカンドオピニオンについて、ホームページ等でPRを行った結果、当院から他院への紹介は70件、他院から当院への紹介は5件であった。	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	手術室	4,857	4,185	4,509	4,612	4,816	中放内視鏡	2,912	2,907	3,207	3,228	3,431	合 計	7,769	7,092	7,716	7,840	8,247	項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	栄養指導	4,585	5,317	5,262	5,042	4,917	栄養管理	5,700	7,439	8,691	8,720	8,907	NST介入	555	696	1,240	1,139	1,046		
		区分\年度		R1	R2	R3	R4	R5																																													
		手術室		4,857	4,185	4,509	4,612	4,816																																													
		中放内視鏡		2,912	2,907	3,207	3,228	3,431																																													
		合 計		7,769	7,092	7,716	7,840	8,247																																													
		項目\年度		R1	R2	R3	R4	R5																																													
		栄養指導		4,585	5,317	5,262	5,042	4,917																																													
		栄養管理		5,700	7,439	8,691	8,720	8,907																																													
		NST介入		555	696	1,240	1,139	1,046																																													
		【医療相談件数】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>医療相談件数</td><td>20,450</td><td>21,347</td><td>26,203</td><td>27,571</td><td>29,732</td></tr><tr><td>がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数</td><td>192</td><td>39</td><td>39</td><td>79</td><td>89</td></tr></table>		項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医療相談件数	20,450	21,347	26,203	27,571	29,732	がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	192	39	39	79	89																																
項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																
医療相談件数	20,450	21,347	26,203	27,571	29,732																																																
がん患者サロン (ほっとサロン) 相談件数	192	39	39	79	89																																																
【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>請求件数</td><td>34</td><td>28</td><td>32</td><td>29</td><td>29</td></tr><tr><td>開示件数</td><td>34</td><td>28</td><td>32</td><td>29</td><td>29</td></tr></table>	項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	請求件数	34	28	32	29	29	開示件数	34	28	32	29	29																																			
項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																
請求件数	34	28	32	29	29																																																
開示件数	34	28	32	29	29																																																
4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 - 患者サポートカンファレンスにおいて、昨年度より5件多い132件の症例を検討した。また、患者や家族からの相談や苦情について、速やかに情報収集を行い、検討結果をもとに各部門へ改善を依頼した。 - がん相談支援センターを中心に、がん患者やその家族のニーズに速やかに応えるよう対応した結果、がん相談対応件数は1,720件と昨年度より279件増加した。 - 患者満足度調査を実施したところ、入院部門は「入院満足度」、「総合評価点」とともに向上した。外来部門は「受診満足度」が向上し、「総合評価点」が低下した。 - 個別項目について、入院部門では概ねすべての項目で満足度が向上した。外来部門では、診察待ち時間の満足度（インデックス）が48.6で+2.2ポイント改善した。満足度が低下した項目は、院内施設面が全般的に低下し、満足度58.7で-1.3ポイントとなった。																																																					
【満足度調査の比較】 単位：％ <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2"></th><th colspan="5">満足度</th></tr><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>入院</td><td>当院</td><td>97.3</td><td>95.3</td><td>95.9</td><td>94.6</td><td>95.8</td></tr></table>			満足度					R1	R2	R3	R4	R5	入院	当院	97.3	95.3	95.9	94.6	95.8																																		
				満足度																																																	
	R1	R2		R3	R4	R5																																															
入院	当院	97.3	95.3	95.9	94.6	95.8																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況						その他の主な取組／課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由	
			Q Iプロジェクト参加病院（平 均値）	88.7	81.9	91.3	88.5	88.0	【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件							
			当院	82.7	85.0	85.3	81.6	81.8	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5		
		外来	Q Iプロジェクト参加病院（平 均値）	81.5	89.5	83.7	81.7	80.3	外来受入	7	4	4	3	5		
			他院紹介	51	38	52	95	70								
		※ Q Iプロジェクトデータを全て引用														
		6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映 ・ 病院広報誌「けんびょういん」について、各診療科や新中央診療棟などのトピックスを取り上げ紙面を作成し、10月と2月に発行した。 ・ 地域情報誌において、隔月で医療情報を発信した。 ・ 公式LINEアカウントを開設し、病院情報を積極的に発信した。 ・ 当院と地域住民の代表等で構成する岐阜県立多治見病院運営協議会を12月に開催し、新中央診療棟の整備状況、市民公開講座などの情報発信の状況、公立病院経営強化プランについて報告し、地域住民等の代表との意見交換を行った。 ・ 病院ホームページがサイバー攻撃等で閲覧不能とならないよう、委託業者と定例会を開催するなど、24時間監視する体制を確保した。														
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 入院前や入院初期に介入することで、転院や早期退院の問題となる事象を速やかに把握し、在院日数の短縮を図った。 ・ 医療連携推進協議会を年4回、地域連携パス合同会議を年3回、東濃・可児地域病病連携推進会議を年2回それぞれ開催し、地域医師会や近隣の医療機関との情報交換を行い、患者動向や医療ニーズの把握に努めた。 【連携予約状況】 単位：件												IV	連携予約の件数増加や健康づくり講座の開催実績を評価。	
			区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5								
			整形外科	1,427	1,212	1,399	1,539	1,561								
			神経内科	995	752	785	818	850								
			消化器内科	2,047	1,936	1,963	2,065	2,110								
			その他	11,743	10,076	10,653	10,793	11,267								
			合 計	16,212	13,976	14,800	15,215	15,788								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																										
		【訪問活動・健康づくり講座】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>訪問活動 (件)</td><td>34</td><td>48</td><td>15</td><td>10</td><td>18</td></tr><tr><td>健康づくり講座 (回)</td><td>17</td><td>3</td><td>0</td><td>10</td><td>16</td></tr></table> 【医療連携交流会】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>院外参加者数</td><td>中止</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td></tr><tr><td>院内参加者数</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 2 多様な専門職の積極的な活用 - 看護師や臨床検査技師、医師事務作業補助者等、多職種の非常勤職員（派遣職員7名を含む）を51名採用した。 - 定年再雇用者は10名採用した。	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	訪問活動 (件)	34	48	15	10	18	健康づくり講座 (回)	17	3	0	10	16	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	院外参加者数	中止	開催自粛	開催自粛	開催自粛	開催自粛	院内参加者数						合 計								
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																										
訪問活動 (件)	34	48	15	10	18																																										
健康づくり講座 (回)	17	3	0	10	16																																										
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																										
院外参加者数	中止	開催自粛	開催自粛	開催自粛	開催自粛																																										
院内参加者数																																															
合 計																																															
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 2 地域連携クリニカルパス 3 疾病予防の推進 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献	3 疾病予防の推進 9月に多治見市のバロー文化ホールで健康フェスタを開催し、体験ブースや病院紹介ブースの設置、外部講師による市民公開講座を開催した。また、2月にも同ホールで市民公開講座を開催した。 - 地域住民を対象とした健康づくり講座について、昨年度より6回多い16回開催した。 - 病院広報誌「けんびょういん」について、各診療科や新中央診療棟などのトピックスを取り上げ紙面を作成し、10月と2月に発行した。 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献 - 医療ソーシャルワーカーが参加する東濃情報交換会を年3回開催し、参加病院や施設と情報交換を行い連携を強化した。 - 東濃 5 市への行政訪問を実施し、今後の課題等について検討を行った。 - 入院時、退院時にケアマネージャー等を交えたカンファレンスを開催し、患者に関する情報を共有することで患者が円滑に退院できるよう取り組んだ。 - DPC入院期間Ⅱ超え患者について、担当者から治療や今後の方針等	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 - 東濃・可児地域病病連携推進会議を年2回開催し、近隣の医療機関と急性期医療、回復期医療の提供体制について、意見交換を行った。 - 開業医への訪問活動は18件と昨年度より8件増加し、紹介患者獲得や高度医療機器の利用に向け、積極的なPR活動を実施した。 - 多治見シャトル（病診連携システム）やたじみのネット（地域医療連携ネットワークシステム）の効果的な活用等により、紹介率、逆紹介率とも高い水準を維持できた。 【多治見シャトル利用】 単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>2,840</td><td>2,834</td><td>3,273</td><td>3,321</td><td>3,202</td></tr></table> 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％ <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>78.4</td><td>82.0</td><td>80.7</td><td>79.0</td><td>79.8</td></tr></table>	R1	R2	R3	R4	R5	2,840	2,834	3,273	3,321	3,202	R1	R2	R3	R4	R5	78.4	82.0	80.7	79.0	79.8	Ⅳ	健康フェスタや市民公開講座の開催など疾病予防の推進や、紹介率、逆紹介率の高水準を評価。																						
R1	R2	R3	R4	R5																																											
2,840	2,834	3,273	3,321	3,202																																											
R1	R2	R3	R4	R5																																											
78.4	82.0	80.7	79.0	79.8																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																										
		を確認し、困難事例を検討するなど退院支援を継続して行った。 【在宅復帰率】 単位：％ <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>91.0</td><td>91.6</td><td>92.2</td><td>90.7</td><td>91.2</td></tr></table> 【相談対応件数】 単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>20,450</td><td>21,347</td><td>26,454</td><td>27,571</td><td>29,732</td></tr></table> 【合同カンファレンスの実績】 単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>465</td><td>450</td><td>377</td><td>371</td><td>405</td></tr></table>	R1	R2	R3	R4	R5	91.0	91.6	92.2	90.7	91.2	R1	R2	R3	R4	R5	20,450	21,347	26,454	27,571	29,732	R1	R2	R3	R4	R5	465	450	377	371	405	【紹介率・逆紹介率】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>紹介率 (単位：％)</td><td>73.4</td><td>74.3</td><td>72.8</td><td>73.3</td><td>74.8</td></tr><tr><td>紹介実件数 (単位：件)</td><td>20,677</td><td>17,048</td><td>18,345</td><td>19,250</td><td>19,776</td></tr><tr><td>逆紹介率 (単位：％)</td><td>101.2</td><td>98.6</td><td>97.4</td><td>100.5</td><td>98.2</td></tr><tr><td>逆紹介実件数 (単位：件)</td><td>19,996</td><td>16,590</td><td>17,638</td><td>18,149</td><td>17,967</td></tr></table> 【高度医療機器利用状況】 単位：件 <table><tr><th>機器名\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>C T</td><td>1,031</td><td>856</td><td>907</td><td>867</td><td>1,028</td></tr><tr><td>M R I</td><td>607</td><td>601</td><td>608</td><td>620</td><td>588</td></tr><tr><td>R I</td><td>158</td><td>194</td><td>197</td><td>197</td><td>214</td></tr><tr><td>P E T</td><td>50</td><td>61</td><td>47</td><td>74</td><td>37</td></tr><tr><td>骨密度</td><td>85</td><td>79</td><td>99</td><td>99</td><td>97</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,931</td><td>1,791</td><td>1,858</td><td>1,857</td><td>1,964</td></tr></table> 【開放型病床利用】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>医科</td><td>11</td><td>1</td><td>11</td><td>9</td><td>21</td></tr><tr><td>歯科</td><td>29</td><td>20</td><td>35</td><td>44</td><td>36</td></tr></table> 2 地域連携クリニカルパスの整備普及 ・ 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、医療連携推進協議会を年4回開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。 【地域連携パス運用実績】 単位：件 <table><tr><th>パス名\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>129</td><td>93</td><td>87</td><td>115</td><td>109</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>238</td><td>251</td><td>220</td><td>206</td><td>188</td></tr></table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	紹介率 (単位：％)	73.4	74.3	72.8	73.3	74.8	紹介実件数 (単位：件)	20,677	17,048	18,345	19,250	19,776	逆紹介率 (単位：％)	101.2	98.6	97.4	100.5	98.2	逆紹介実件数 (単位：件)	19,996	16,590	17,638	18,149	17,967	機器名\年度	R1	R2	R3	R4	R5	C T	1,031	856	907	867	1,028	M R I	607	601	608	620	588	R I	158	194	197	197	214	P E T	50	61	47	74	37	骨密度	85	79	99	99	97	合 計	1,931	1,791	1,858	1,857	1,964	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医科	11	1	11	9	21	歯科	29	20	35	44	36	パス名\年度	R1	R2	R3	R4	R5	大腿骨頸部骨折	129	93	87	115	109	脳卒中	238	251	220	206	188		
R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																											
91.0	91.6	92.2	90.7	91.2																																																																																																																																											
R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																											
20,450	21,347	26,454	27,571	29,732																																																																																																																																											
R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																											
465	450	377	371	405																																																																																																																																											
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																										
紹介率 (単位：％)	73.4	74.3	72.8	73.3	74.8																																																																																																																																										
紹介実件数 (単位：件)	20,677	17,048	18,345	19,250	19,776																																																																																																																																										
逆紹介率 (単位：％)	101.2	98.6	97.4	100.5	98.2																																																																																																																																										
逆紹介実件数 (単位：件)	19,996	16,590	17,638	18,149	17,967																																																																																																																																										
機器名\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																										
C T	1,031	856	907	867	1,028																																																																																																																																										
M R I	607	601	608	620	588																																																																																																																																										
R I	158	194	197	197	214																																																																																																																																										
P E T	50	61	47	74	37																																																																																																																																										
骨密度	85	79	99	99	97																																																																																																																																										
合 計	1,931	1,791	1,858	1,857	1,964																																																																																																																																										
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																										
医科	11	1	11	9	21																																																																																																																																										
歯科	29	20	35	44	36																																																																																																																																										
パス名\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																										
大腿骨頸部骨折	129	93	87	115	109																																																																																																																																										
脳卒中	238	251	220	206	188																																																																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																		
			<table><tr><td>5大がん</td><td>6</td><td>19</td><td>13</td><td>15</td><td>25</td></tr><tr><td>狭心症・心筋梗塞</td><td>15</td><td>11</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合 計</td><td>388</td><td>374</td><td>322</td><td>337</td><td>322</td></tr></table> 【共同指導・連携指導の実績】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>退院時共同指導実績</td><td>204</td><td>222</td><td>202</td><td>194</td><td>194</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>372</td><td>229</td><td>174</td><td>171</td><td>180</td></tr></table>	5大がん	6	19	13	15	25	狭心症・心筋梗塞	15	11	2	1	0	糖尿病	0	0	0	0	0	合 計	388	374	322	337	322	項目＼年度	R1	R2	R3	R4	R5	退院時共同指導実績	204	222	202	194	194	介護支援連携指導	372	229	174	171	180																																																																																										
5大がん	6	19	13	15	25																																																																																																																																		
狭心症・心筋梗塞	15	11	2	1	0																																																																																																																																		
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																																																																		
合 計	388	374	322	337	322																																																																																																																																		
項目＼年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																		
退院時共同指導実績	204	222	202	194	194																																																																																																																																		
介護支援連携指導	372	229	174	171	180																																																																																																																																		
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実	1 救急医療 ・ 満床により入院受け入れが困難な状態が続いたが、救急搬送の受け入れを極力停止することなく、救急医療の体制維持に努めた。 ・ RRS（院内迅速対応システム）の試験運用について、12月から整形外科病棟をモデル病棟として開始した。 ・ バイタル・モニタが閲覧できるタブレットを附属したナースカートを3セットずつ一般病棟へ配備した。 【救命救急センター受入実績（延患者数及び病床利用率）】 <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">R1</th><th colspan="2">R2</th><th colspan="2">R3</th></tr><tr><th>項目</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （％）</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （％）</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （％）</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,554</td><td>53.2</td><td>1,567</td><td>53.7</td><td>1,531</td><td>53.9</td></tr><tr><td>CCU</td><td>840</td><td>76.7</td><td>768</td><td>70.1</td><td>745</td><td>68.8</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,481</td><td>45.1</td><td>1,032</td><td>31.4</td><td>957</td><td>29.4</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,875</td><td>53.1</td><td>3,367</td><td>46.1</td><td>3,233</td><td>45.1</td></tr></table> <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">R4</th><th colspan="2">R5</th></tr><tr><th>項目</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （％）</th><th>延患者数 （人）</th><th>病床利用率 （％）</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,722</td><td>59.0</td><td>1,778</td><td>60.9</td></tr><tr><td>CCU</td><td>747</td><td>68.2</td><td>731</td><td>66.8</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,000</td><td>30.4</td><td>1,088</td><td>33.1</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,469</td><td>47.5</td><td>3,597</td><td>49.3</td></tr></table>	年度	R1		R2		R3		項目	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	ICU	1,554	53.2	1,567	53.7	1,531	53.9	CCU	840	76.7	768	70.1	745	68.8	HCU	1,481	45.1	1,032	31.4	957	29.4	合計	3,875	53.1	3,367	46.1	3,233	45.1	年度	R4		R5		項目	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	ICU	1,722	59.0	1,778	60.9	CCU	747	68.2	731	66.8	HCU	1,000	30.4	1,088	33.1	合計	3,469	47.5	3,597	49.3	2 周産期医療 ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持した。 ・ 当院で分娩する方に対して、分娩費用が分かりやすいよう、産婦人科外来及び産婦人科病棟に費用一覧を掲示した。 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table><tr><th>区分＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>分娩件数（単位：件）</td><td>524</td><td>462</td><td>539</td><td>529</td><td>409</td></tr><tr><td>新生児数（単位：人）</td><td>547</td><td>516</td><td>535</td><td>566</td><td>454</td></tr><tr><td rowspan="3">年間入院者数</td><td>NICU（単位：人）</td><td>204</td><td>185</td><td>195</td><td>183</td></tr><tr><td>GCU（単位：人）</td><td>426</td><td>370</td><td>246</td><td>212</td></tr><tr><td>産科（単位：人）</td><td>663</td><td>638</td><td>604</td><td>573</td></tr><tr><td>母胎搬送件数（単位：件）</td><td>66</td><td>86</td><td>73</td><td>63</td><td>41</td></tr><tr><td>新生児搬送件数（単位：件）</td><td>68</td><td>48</td><td>93</td><td>40</td><td>45</td></tr></table> 4 精神科医療・感染症医療 ・ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、結核病床を再開し、救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者を受け入れた。 ・ 東濃精神科医療連絡会について、来年度開催できるよう計画した。また、関連医療機関等への訪問を継続し、情報共有を行うことで連携を強化した。 【患者の受入れ実績】 単位：人 <table><tr><th>病床＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>結核、感染症</td><td>1,365</td><td>2,197</td><td>2,976</td><td>2,763</td><td>1,304</td></tr></table>	区分＼年度	R1	R2	R3	R4	R5	分娩件数（単位：件）	524	462	539	529	409	新生児数（単位：人）	547	516	535	566	454	年間入院者数	NICU（単位：人）	204	185	195	183	GCU（単位：人）	426	370	246	212	産科（単位：人）	663	638	604	573	母胎搬送件数（単位：件）	66	86	73	63	41	新生児搬送件数（単位：件）	68	48	93	40	45	病床＼年度	R1	R2	R3	R4	R5	結核、感染症	1,365	2,197	2,976	2,763	1,304	IV	造血幹細胞移植の実績や、レスパイトケアのための短期入所施設の整備等の進捗状況の評価。
年度	R1		R2		R3																																																																																																																																		
項目	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）																																																																																																																																	
ICU	1,554	53.2	1,567	53.7	1,531	53.9																																																																																																																																	
CCU	840	76.7	768	70.1	745	68.8																																																																																																																																	
HCU	1,481	45.1	1,032	31.4	957	29.4																																																																																																																																	
合計	3,875	53.1	3,367	46.1	3,233	45.1																																																																																																																																	
年度	R4		R5																																																																																																																																				
項目	延患者数 （人）	病床利用率 （％）	延患者数 （人）	病床利用率 （％）																																																																																																																																			
ICU	1,722	59.0	1,778	60.9																																																																																																																																			
CCU	747	68.2	731	66.8																																																																																																																																			
HCU	1,000	30.4	1,088	33.1																																																																																																																																			
合計	3,469	47.5	3,597	49.3																																																																																																																																			
区分＼年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																		
分娩件数（単位：件）	524	462	539	529	409																																																																																																																																		
新生児数（単位：人）	547	516	535	566	454																																																																																																																																		
年間入院者数	NICU（単位：人）	204	185	195	183																																																																																																																																		
	GCU（単位：人）	426	370	246	212																																																																																																																																		
	産科（単位：人）	663	638	604	573																																																																																																																																		
母胎搬送件数（単位：件）	66	86	73	63	41																																																																																																																																		
新生児搬送件数（単位：件）	68	48	93	40	45																																																																																																																																		
病床＼年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																		
結核、感染症	1,365	2,197	2,976	2,763	1,304																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																																		
		【救急車両受入台数】 単位：台 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td><td>5,136</td><td>4,110</td><td>4,554</td><td>4,469</td><td>4,652</td></tr> <tr> <td>一日平均台数</td><td>14.0</td><td>11.3</td><td>12.5</td><td>12.2</td><td>12.7</td></tr> </tbody> </table> 【心臓血管手術症例数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td><td>35</td><td>28</td><td>22</td><td>17</td><td>33</td></tr> <tr> <td>弁膜症</td><td>42</td><td>36</td><td>20</td><td>27</td><td>35</td></tr> <tr> <td>大動脈</td><td>45</td><td>39</td><td>54</td><td>40</td><td>46</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>82</td><td>40</td><td>36</td><td>76</td><td>47</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>204</td><td>143</td><td>132</td><td>160</td><td>161</td></tr> </tbody> </table> 【手術・検査件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td><td>893</td><td>828</td><td>838</td><td>762</td><td>762</td></tr> <tr> <td>P C I※</td><td>357</td><td>351</td><td>436</td><td>397</td><td>384</td></tr> </tbody> </table> ※PCI：冠動脈形成術 【循環器系】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td><td>64</td><td>222</td><td>194</td><td>260</td><td>271</td></tr> <tr> <td>P M I※</td><td>68</td><td>38</td><td>84</td><td>70</td><td>93</td></tr> <tr> <td>I C D※</td><td>8</td><td>8</td><td>16</td><td>19</td><td>16</td></tr> </tbody> </table> ※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器 【狭心症・心筋梗塞パズ運用実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パズ運用（単位：件）</td><td>15</td><td>11</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>登録医師数（単位：人）</td><td>65</td><td>63</td><td>63</td><td>63</td><td>63</td></tr> </tbody> </table> 3 がん医療 - 県内で数少ない造血幹細胞移植施設として稼働を始め、複数例移植を行った。 - 高精度放射線治療装置（ノバリスTx）と新放射線治療装置（トゥルービーム）の2台体制によりIMRTなど質の高い治療を提供した。 - がん登録数は2,036件で、昨年度より561件減少したが、2年連続	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	受入台数	5,136	4,110	4,554	4,469	4,652	一日平均台数	14.0	11.3	12.5	12.2	12.7	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	虚血性心疾患	35	28	22	17	33	弁膜症	42	36	20	27	35	大動脈	45	39	54	40	46	その他	82	40	36	76	47	合 計	204	143	132	160	161	区分\年	R1	R2	R3	R4	R5	心カテ	893	828	838	762	762	P C I※	357	351	436	397	384	区分\年	R1	R2	R3	R4	R5	アブレーション	64	222	194	260	271	P M I※	68	38	84	70	93	I C D※	8	8	16	19	16	項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	パズ運用（単位：件）	15	11	2	1	0	登録医師数（単位：人）	65	63	63	63	63	<table border="1"> <tr> <td>精神科</td><td>5,421</td><td>3,761</td><td>3,898</td><td>3,057</td><td>3,269</td></tr> </table> 5 緩和ケア 患者のニーズが充足できるよう、緩和ケアチームでラウンドを実施し、一般病棟に入院中のがん患者等の症状緩和を目的に、チームでの対応を行った。 【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア勉強会</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>緩和ケア研修会</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>緩和ケア講演会</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 【緩和ケアの患者動向】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td><td>3,427</td><td>1,584</td><td>2,323</td><td>2,107</td><td>2,541</td></tr> <tr> <td>外来患者数</td><td>155</td><td>150</td><td>210</td><td>205</td><td>205</td></tr> </tbody> </table> ※令和2年12月から令和3年2月まで、新型コロナウイルス感染対策のため、緩和ケア病棟を一時休止。	精神科	5,421	3,761	3,898	3,057	3,269	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	緩和ケア勉強会	5	0	0	1	1	緩和ケア研修会	0	1	0	1	1	緩和ケア講演会	0	0	0	0	0	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	入院患者数	3,427	1,584	2,323	2,107	2,541	外来患者数	155	150	210	205	205		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
受入台数	5,136	4,110	4,554	4,469	4,652																																																																																																																																																																		
一日平均台数	14.0	11.3	12.5	12.2	12.7																																																																																																																																																																		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
虚血性心疾患	35	28	22	17	33																																																																																																																																																																		
弁膜症	42	36	20	27	35																																																																																																																																																																		
大動脈	45	39	54	40	46																																																																																																																																																																		
その他	82	40	36	76	47																																																																																																																																																																		
合 計	204	143	132	160	161																																																																																																																																																																		
区分\年	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
心カテ	893	828	838	762	762																																																																																																																																																																		
P C I※	357	351	436	397	384																																																																																																																																																																		
区分\年	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
アブレーション	64	222	194	260	271																																																																																																																																																																		
P M I※	68	38	84	70	93																																																																																																																																																																		
I C D※	8	8	16	19	16																																																																																																																																																																		
項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
パズ運用（単位：件）	15	11	2	1	0																																																																																																																																																																		
登録医師数（単位：人）	65	63	63	63	63																																																																																																																																																																		
精神科	5,421	3,761	3,898	3,057	3,269																																																																																																																																																																		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
緩和ケア勉強会	5	0	0	1	1																																																																																																																																																																		
緩和ケア研修会	0	1	0	1	1																																																																																																																																																																		
緩和ケア講演会	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																																																																																		
入院患者数	3,427	1,584	2,323	2,107	2,541																																																																																																																																																																		
外来患者数	155	150	210	205	205																																																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																								
		2,000 件を超える登録数となった。 ・ 医療相談におけるがん相談件数は1,720 件で、昨年度から 279 件増加した。 ・ がん治療と就労の両立支援について、社会保険労務士やハローワークと連携して支援した相談件数は 54 件で、そのうち 8 人が就労見込みとなった。 【がん患者等の状況】 <table><tr><th colspan="2">項目＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td colspan="2">入院患者数（単位：人）</td><td>2,858</td><td>2,808</td><td>2,671</td><td>2,889</td><td>2,926</td></tr><tr><td colspan="2">外来患者数（単位：人）</td><td>1,818</td><td>1,923</td><td>2,162</td><td>2,221</td><td>2,189</td></tr><tr><td colspan="2">手術件数</td><td>1,036</td><td>945</td><td>959</td><td>983</td><td>972</td></tr><tr><td rowspan="2">化学療法件数</td><td>入院</td><td>1,505</td><td>1,760</td><td>1,583</td><td>1,663</td><td>1,646</td></tr><tr><td>外来</td><td>12,704</td><td>11,176</td><td>12,528</td><td>12,871</td><td>12,683</td></tr><tr><td rowspan="2">放射線治療施行回数</td><td>入院</td><td>2,950</td><td>2,835</td><td>2,621</td><td>2,150</td><td>1,826</td></tr><tr><td>外来</td><td>6,481</td><td>5,834</td><td>5,914</td><td>5,453</td><td>4,660</td></tr></table> 【がんパス件数】 単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>6</td><td>19</td><td>13</td><td>15</td><td>25</td></tr></table> 【高精度放射線治療システム（ノバリスTx・トゥルービーム）】 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>患者数（単位：人）</td><td>462</td><td>446</td><td>441</td><td>435</td><td>402</td></tr><tr><td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td><td>337</td><td>392</td><td>305</td><td>296</td><td>263</td></tr><tr><td>延べ件数（単位：件）</td><td>9,714</td><td>9,040</td><td>8,911</td><td>7,940</td><td>6,754</td></tr></table> 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実 ・ 新中央診療棟の 5 階病棟に、医療的ケア児等を対象とした短期入所に対応可能な病室を整備した。 ・ 医師、看護師、事務職員で構成したプロジェクトチームで、他病院の視察等を実施するなど詳細検討を行った。 ・ 令和 6 年度内に運用開始できるよう、関係機関への事務手続き等を開始した。	項目＼年度		R1	R2	R3	R4	R5	入院患者数（単位：人）		2,858	2,808	2,671	2,889	2,926	外来患者数（単位：人）		1,818	1,923	2,162	2,221	2,189	手術件数		1,036	945	959	983	972	化学療法件数	入院	1,505	1,760	1,583	1,663	1,646	外来	12,704	11,176	12,528	12,871	12,683	放射線治療施行回数	入院	2,950	2,835	2,621	2,150	1,826	外来	6,481	5,834	5,914	5,453	4,660	R1	R2	R3	R4	R5	6	19	13	15	25	項目＼年度	R1	R2	R3	R4	R5	患者数（単位：人）	462	446	441	435	402	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	337	392	305	296	263	延べ件数（単位：件）	9,714	9,040	8,911	7,940	6,754			
項目＼年度		R1	R2	R3	R4	R5																																																																																							
入院患者数（単位：人）		2,858	2,808	2,671	2,889	2,926																																																																																							
外来患者数（単位：人）		1,818	1,923	2,162	2,221	2,189																																																																																							
手術件数		1,036	945	959	983	972																																																																																							
化学療法件数	入院	1,505	1,760	1,583	1,663	1,646																																																																																							
	外来	12,704	11,176	12,528	12,871	12,683																																																																																							
放射線治療施行回数	入院	2,950	2,835	2,621	2,150	1,826																																																																																							
	外来	6,481	5,834	5,914	5,453	4,660																																																																																							
R1	R2	R3	R4	R5																																																																																									
6	19	13	15	25																																																																																									
項目＼年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																								
患者数（単位：人）	462	446	441	435	402																																																																																								
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	337	392	305	296	263																																																																																								
延べ件数（単位：件）	9,714	9,040	8,911	7,940	6,754																																																																																								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。 ※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進		1 臨床研究及び治験の推進 - 受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 - 臨床共同研究について、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 【臨床研究及び治験件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>臨床共同研究件数</td><td>13</td><td>12</td><td>8</td><td>7</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	治験実施件数	0	0	0	0	0	臨床共同研究件数	13	12	8	7	10	Ⅲ	継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価。
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																		
治験実施件数	0	0	0	0	0																		
臨床共同研究件数	13	12	8	7	10																		
07	※ 診療情報等の活用 1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用		1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 - 診療に関する情報を分析・集計し、一元的に管理することで、各診療科医師や各部門からの要望に応じ、必要な医療情報を提供した。 - 施設基準に関するデータの把握に努め、新規・変更届出を遅滞なく行った。また、来年度の診療報酬改定に伴う施設基準の届出に備え、データの収集に努めた。 - 各種医療データを活用し、稼働額や患者月報、各種算定件数を管理会議や診療報酬委員会へ報告し、病院経営や研究支援に活用した。 - 医療連携関連データについて、医療連携推進協議会を通じ、地域医師会や近隣医療機関等と情報を共有した。 【看護必要度】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院値</td><td>31.2</td><td>33.7</td><td>33.8</td><td>32.8</td><td>34.1</td></tr> </tbody> </table>	項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5	当院値	31.2	33.7	33.8	32.8	34.1	Ⅲ	Q I 事業等の継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価。						
項目\年度	R1	R2	R3	R4	R5																		
当院値	31.2	33.7	33.8	32.8	34.1																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)						自己 評価	自己評価理由																																																								
			<table><tr><td>7 対 1 施設基準</td><td>25. 0</td><td>29. 0</td><td>29. 0</td><td>28. 0</td><td>28. 0</td></tr></table> 【診療密度】 <table><tr><td>項目＼改定年度</td><td>H30</td><td>R2</td><td>R4</td></tr><tr><td>当院値</td><td>2386. 25</td><td>2674. 42</td><td>2759. 87</td></tr><tr><td>Ⅱ群基準値</td><td>2413. 38</td><td>2476. 99</td><td>2544. 49</td></tr><tr><td>対基準値（％）</td><td>98. 88</td><td>107. 8</td><td>108. 5</td></tr></table> 【DPC係数】 <table><tr><td>項目＼年月</td><td>H31. 4</td><td>R2. 4 ※</td><td>R3. 4</td><td>R4. 4 ※</td><td>R5. 4</td></tr><tr><td>基礎係数</td><td>1. 0314</td><td>1. 0708</td><td>1. 0680</td><td>1. 0708</td><td>1. 0680</td></tr><tr><td>暫定調整係数</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td></tr><tr><td>機能評価係数Ⅱ</td><td>0. 1275</td><td>0. 1005</td><td>0. 1140</td><td>0. 1005</td><td>0. 1187</td></tr></table> ※改定年 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・ 日本病院会Q I 事業や京都大学Q I P 事業に引き続き参加してデータを提出し、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、医療の質の向上に活用した。 ・ 厚生労働省指定項目目標を病院ホームページに公開し、それに対するDPC病院指数を確保した。 ・ DPCデータや各種情報システム（M I L・E V E・メディカルコード）を活用し、診療報酬委員会においてデータ分析や分析結果の検討を行い、関係診療科や関係部門と収益増加に努めた。 【Q I 指標項目数】 単位：個 <table><tr><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>36</td><td>36</td></tr></table>						7 対 1 施設基準	25. 0	29. 0	29. 0	28. 0	28. 0	項目＼改定年度	H30	R2	R4	当院値	2386. 25	2674. 42	2759. 87	Ⅱ群基準値	2413. 38	2476. 99	2544. 49	対基準値（％）	98. 88	107. 8	108. 5	項目＼年月	H31. 4	R2. 4 ※	R3. 4	R4. 4 ※	R5. 4	基礎係数	1. 0314	1. 0708	1. 0680	1. 0708	1. 0680	暫定調整係数	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	機能評価係数Ⅱ	0. 1275	0. 1005	0. 1140	0. 1005	0. 1187	R1	R2	R3	R4	R5	40	40	40	36	36		
7 対 1 施設基準	25. 0	29. 0	29. 0	28. 0	28. 0																																																													
項目＼改定年度	H30	R2	R4																																																															
当院値	2386. 25	2674. 42	2759. 87																																																															
Ⅱ群基準値	2413. 38	2476. 99	2544. 49																																																															
対基準値（％）	98. 88	107. 8	108. 5																																																															
項目＼年月	H31. 4	R2. 4 ※	R3. 4	R4. 4 ※	R5. 4																																																													
基礎係数	1. 0314	1. 0708	1. 0680	1. 0708	1. 0680																																																													
暫定調整係数	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000																																																													
機能評価係数Ⅱ	0. 1275	0. 1005	0. 1140	0. 1005	0. 1187																																																													
R1	R2	R3	R4	R5																																																														
40	40	40	36	36																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由										
			【がん登録件数】単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>1,978</td><td>1,453</td><td>1,790</td><td>2,597</td><td>2,036</td></tr></table>	R1	R2	R3	R4	R5	1,978	1,453	1,790	2,597	2,036		
R1	R2	R3	R4	R5											
1,978	1,453	1,790	2,597	2,036											

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。 ※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。 ※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。				
----------	---	--	--	--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い臨床研修医の養成等 2 専攻医の育成等		1 質の高い臨床研修医の養成等 ・ 研修医の資質の向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、名古屋大学等から講師を招聘して総合診療教育カンファレンス（計 9 回）、総合内科診療教育研修（計 11 回）を開催した。 ・ 内科症例検討会を月 1 回開催し、研修医自ら症例を提示した。 ・ 研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義（毎月 2 診療科）を開催した（計 24 回開催）。また、若手先輩医師を講師とした早朝勉強会を月 1 回開催した（計 12 回開催）。 【医師の研修派遣実績人数】 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> <tr> <td>派遣</td><td>455</td><td>182</td><td>309</td><td>432</td><td>525</td></tr> </table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	派遣	455	182	309	432	525	Ⅲ	継続的な取組が実施でき ており、平年並みの実績 と評価。
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5												
派遣	455	182	309	432	525												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
			【職員を対象とした外部講師開催実績】単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>9/4</td><td>・臓器提供調整委員会 「臓器提供と臓器移植」講演会</td><td>岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代晃江氏</td><td>WEB</td></tr><tr><td>11/6</td><td>・職員相談支援室 「一人ひとりが快適に働ける風通しの良い職場とは」</td><td>職場環境改善 コンサルタント Nバク氏</td><td>111</td></tr><tr><td>11/9</td><td>・化学療法委員会学術講演会 「高齢がん患者に対する個別化医療を目指して」</td><td>島根大学病院 津端由佳里先生</td><td>WEB</td></tr><tr><td>3/7</td><td>・衛生委員会メンタルヘルス講演会 「大切な人を守るには自分を大切にすることから～心の健康を守るセルフケア～」</td><td>岐阜県産業保健総合支援センターあづまや代表 中島知賀先生</td><td>48</td></tr></table> 【研修医を対象とした外部講師開催実績】単位：人 <table><tr><th>講演会等名</th><th>回数</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>総合診療教育カンファレンス</td><td>9</td><td>名古屋大学 近藤猛先生</td><td>28</td></tr><tr><td>総合内科診療教育研修</td><td>11</td><td>AOI 名古屋病院 三島信彦先生</td><td>14</td></tr></table>	開催日	講演会等名	講師	参加者	9/4	・臓器提供調整委員会 「臓器提供と臓器移植」講演会	岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代晃江氏	WEB	11/6	・職員相談支援室 「一人ひとりが快適に働ける風通しの良い職場とは」	職場環境改善 コンサルタント Nバク氏	111	11/9	・化学療法委員会学術講演会 「高齢がん患者に対する個別化医療を目指して」	島根大学病院 津端由佳里先生	WEB	3/7	・衛生委員会メンタルヘルス講演会 「大切な人を守るには自分を大切にすることから～心の健康を守るセルフケア～」	岐阜県産業保健総合支援センターあづまや代表 中島知賀先生	48	講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学 近藤猛先生	28	総合内科診療教育研修	11	AOI 名古屋病院 三島信彦先生	14		
開催日	講演会等名	講師	参加者																																		
9/4	・臓器提供調整委員会 「臓器提供と臓器移植」講演会	岐阜県ジン・アイバンク協会 岐阜県臓器提供移植コーディネーター 八代晃江氏	WEB																																		
11/6	・職員相談支援室 「一人ひとりが快適に働ける風通しの良い職場とは」	職場環境改善 コンサルタント Nバク氏	111																																		
11/9	・化学療法委員会学術講演会 「高齢がん患者に対する個別化医療を目指して」	島根大学病院 津端由佳里先生	WEB																																		
3/7	・衛生委員会メンタルヘルス講演会 「大切な人を守るには自分を大切にすることから～心の健康を守るセルフケア～」	岐阜県産業保健総合支援センターあづまや代表 中島知賀先生	48																																		
講演会等名	回数	講師	参加者																																		
総合診療教育カンファレンス	9	名古屋大学 近藤猛先生	28																																		
総合内科診療教育研修	11	AOI 名古屋病院 三島信彦先生	14																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
			【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>23</td><td>26</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr> <tr> <td>歯科医師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> 2 専攻医に対する育成等 - 内科領域、外科領域及び精神科領域の専門研修プログラムの基幹施設として、内科医師4名、外科医師1名を当院プログラムに採用した。 - 内科専攻研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を8月と2月に実施した。 - 内科専門研修プログラムの基幹施設として、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）を開催し、当院内科専門研修プログラムの専攻医1年目7名と内科医師1名が受講した。 【後期研修医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>18</td><td>28</td></tr> <tr> <td>歯科医師</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医師	23	26	24	24	24	歯科医師	2	2	2	2	2	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医師	19	20	21	18	28	歯科医師	3	2	2	1	1		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																				
医師	23	26	24	24	24																																				
歯科医師	2	2	2	2	2																																				
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																				
医師	19	20	21	18	28																																				
歯科医師	3	2	2	1	1																																				
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援		1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ 医学生について、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から、積極的に受け入れ実習を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 【学生の実習受入れ状況】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td><td>52</td><td>18</td><td>41</td><td>46</td><td>57</td></tr> <tr> <td>看護学生</td><td>481</td><td>426</td><td>424</td><td>253</td><td>663</td></tr> <tr> <td>コメディカル</td><td>63</td><td>67</td><td>73</td><td>94</td><td>51</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>596</td><td>511</td><td>538</td><td>393</td><td>771</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医学生	52	18	41	46	57	看護学生	481	426	424	253	663	コメディカル	63	67	73	94	51	合 計	596	511	538	393	771	Ⅲ	継続的な取組が実施できしており、平年並みの実績と評価。						
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																				
医学生	52	18	41	46	57																																				
看護学生	481	426	424	253	663																																				
コメディカル	63	67	73	94	51																																				
合 計	596	511	538	393	771																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																														
			【医学生の見学受入れ状況】単位：人 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>64</td><td>30</td><td>65</td><td>70</td><td>109</td></tr></table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 - 東濃5市の各消防本部から、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 【救急救命士の研修実績状況】単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>生涯教育実習</td><td>82</td><td>76</td><td>83</td><td>82</td><td>84</td></tr><tr><td>就業前実習</td><td>8</td><td>7</td><td>9</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>気管挿管実習</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td></tr><tr><td>薬剤投与実習</td><td>6</td><td>7</td><td>6</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>合 計</td><td>98</td><td>96</td><td>104</td><td>95</td><td>98</td></tr></table> 3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援 - 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、看護師養成を支援した。	R1	R2	R3	R4	R5	64	30	65	70	109	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	生涯教育実習	82	76	83	82	84	就業前実習	8	7	9	5	5	気管挿管実習	2	6	6	6	8	薬剤投与実習	6	7	6	2	1	合 計	98	96	104	95	98		
R1	R2	R3	R4	R5																																															
64	30	65	70	109																																															
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																														
生涯教育実習	82	76	83	82	84																																														
就業前実習	8	7	9	5	5																																														
気管挿管実習	2	6	6	6	8																																														
薬剤投与実習	6	7	6	2	1																																														
合 計	98	96	104	95	98																																														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	1－4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。 ※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、東濃圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。 ※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。 ※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保	1 地域医療水準の向上 ・ 2月に開催された多治見市医師会主催の東濃医学会学術集会において、近藤院長が座長を務め、当院から8演題発表し地域の医療水準の向上に寄与した。 ・ 開業医への訪問活動は18件と昨年度より8件増加し、紹介患者獲得や高度医療機器の利用に向け、積極的なPR活動を実施した。 ・ 医療連携推進協議会等を通じて、医療連携の強化や各医療機関の役割分担の明確化を図り、地域医療支援病院の指定に必要な紹介率・逆紹介率を確保した。	2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保 ・ 国民健康保険上矢作病院へ週に1度、医師1名を当直業務に派遣した。 ・ 土岐市立総合病院へ週に1度、3年目の医師1名を当直業務に派遣した。 ・ 土岐市立総合病院（循環器内科・消化器内科）へ毎週火曜日と木曜日にそれぞれ医師1名を派遣した。 <table><tr><th>派遣医療機関</th><th>派遣状況</th></tr><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>・ 週1回（当直業務）1人（5人で交代）</td></tr><tr><td>土岐市立総合病院</td><td>・ 毎週金曜日（当直業務）（4人で交代） ・ 消化器内科 毎週火曜日と木曜日（4人で交代） ・ 循環器内科 毎週木曜日（2人で交代）</td></tr></table>	派遣医療機関	派遣状況	国民健康保険上矢作病院	・ 週1回（当直業務）1人（5人で交代）	土岐市立総合病院	・ 毎週金曜日（当直業務）（4人で交代） ・ 消化器内科 毎週火曜日と木曜日（4人で交代） ・ 循環器内科 毎週木曜日（2人で交代）	Ⅳ	東濃地区医学会学術集会で院長が座長を務めるなど、地域医療水準の向上に寄与した実績を評価。
派遣医療機関	派遣状況										
国民健康保険上矢作病院	・ 週1回（当直業務）1人（5人で交代）										
土岐市立総合病院	・ 毎週金曜日（当直業務）（4人で交代） ・ 消化器内科 毎週火曜日と木曜日（4人で交代） ・ 循環器内科 毎週木曜日（2人で交代）										
11	※ 社会的な要請への協力	・ 大学、専門学校等からの要請に応じ、講師の派遣や実習生の受け入れを行った。 ・ 「ふれあい看護体験」を7月と8月の2回に分けて開催し、合計70名の高校生が参加した。 ・ 多治見市内の中学生の職場体験に各部署で協力した。 ・ 令和6年能登半島地震の被災地支援に看護協会要請の災害支援ナースやJ R A T（リハビリ支援協会）等による派遣を行った。		Ⅳ	積極的に講師派遣や高校生、実習生の受け入れを行った実績や、多職種での災害派遣実績を評価。						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																						
		【講師等派遣の状況】単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>医師</td><td>201</td><td>106</td><td>197</td><td>191</td><td>199</td></tr><tr><td>看護師</td><td>29</td><td>40</td><td>39</td><td>53</td><td>72</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>65</td><td>22</td><td>17</td><td>14</td><td>26</td></tr><tr><td>合 計</td><td>295</td><td>168</td><td>253</td><td>258</td><td>297</td></tr></table> 【令和6年能登半島地震被災地派遣状況（DMAT・DPAT 除く）】 <table><tr><th>派遣期間</th><th>派遣状況</th><th>派遣先</th></tr><tr><td>1/17～22</td><td>看護協会要請の災害支援ナース 2人</td><td>金沢市</td></tr><tr><td>1/29～2/2</td><td>災害ボランティア（医事業務） 1人</td><td>輪島市</td></tr><tr><td>1/31～2/2</td><td>災害時感染制御チーム（DICT）医師 1人</td><td>金沢市</td></tr><tr><td>2/1～7</td><td>自治体病院協議会要請の看護師 1人</td><td>輪島市</td></tr><tr><td>2/1～6</td><td>看護協会要請の災害支援ナース 1人</td><td>金沢市</td></tr><tr><td>2/4～9</td><td>看護協会要請の災害支援ナース 1人</td><td>金沢市</td></tr><tr><td>2/6～9</td><td>J R A T（リハビリ支援） 4人</td><td>金沢市、穴水町、七尾市、輪島市（各1日ずつ）</td></tr></table> ※DMAT、DPATを含め、延べ30名を被災地へ派遣した。	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医師	201	106	197	191	199	看護師	29	40	39	53	72	コメディカル	65	22	17	14	26	合 計	295	168	253	258	297	派遣期間	派遣状況	派遣先	1/17～22	看護協会要請の災害支援ナース 2人	金沢市	1/29～2/2	災害ボランティア（医事業務） 1人	輪島市	1/31～2/2	災害時感染制御チーム（DICT）医師 1人	金沢市	2/1～7	自治体病院協議会要請の看護師 1人	輪島市	2/1～6	看護協会要請の災害支援ナース 1人	金沢市	2/4～9	看護協会要請の災害支援ナース 1人	金沢市	2/6～9	J R A T（リハビリ支援） 4人	金沢市、穴水町、七尾市、輪島市（各1日ずつ）			
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																						
医師	201	106	197	191	199																																																						
看護師	29	40	39	53	72																																																						
コメディカル	65	22	17	14	26																																																						
合 計	295	168	253	258	297																																																						
派遣期間	派遣状況	派遣先																																																									
1/17～22	看護協会要請の災害支援ナース 2人	金沢市																																																									
1/29～2/2	災害ボランティア（医事業務） 1人	輪島市																																																									
1/31～2/2	災害時感染制御チーム（DICT）医師 1人	金沢市																																																									
2/1～7	自治体病院協議会要請の看護師 1人	輪島市																																																									
2/1～6	看護協会要請の災害支援ナース 1人	金沢市																																																									
2/4～9	看護協会要請の災害支援ナース 1人	金沢市																																																									
2/6～9	J R A T（リハビリ支援） 4人	金沢市、穴水町、七尾市、輪島市（各1日ずつ）																																																									
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 9月に多治見市のバロー文化ホールで健康フェスタを開催し、体験ブースや病院紹介ブースの設置、外部講師による市民公開講座を実施した。また、2月にも同ホールで市民公開講座を開催した。 ・ 地域住民を対象とした健康づくり講座について、昨年度より6回多い16回開催した。		IV	健康フェスタや市民公開講座を実施し、地域情報誌等で積極的な情報発信を実施した実績を評価。																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		【市民公開講座】単位：人 <table><thead><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr></thead><tbody><tr><td>9/16</td><td>「認知症とともに生きる」</td><td>国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長 武田章敬先生</td><td>110</td></tr><tr><td>2/12</td><td>「健康長寿のカギはここにある！！～腸から若返る～」</td><td>京都府立医科大学 大学生体免疫学講座教授 内藤裕二先生</td><td>210</td></tr></tbody></table> 2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・ 病院広報誌「けんぴょういん」について、各診療科や新中央診療棟などのトピックスを取り上げ紙面を作成し、10 月と 2 月に発行した。 ・ 地域情報誌において、隔月で医療情報を発信した。 ・ 市民公開講座や健康づくり講座についてアーカイブ配信を実施した。	開催日	講演会等名	講師	参加者	9/16	「認知症とともに生きる」	国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長 武田章敬先生	110	2/12	「健康長寿のカギはここにある！！～腸から若返る～」	京都府立医科大学 大学生体免疫学講座教授 内藤裕二先生	210			
開催日	講演会等名	講師	参加者														
9/16	「認知症とともに生きる」	国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長 武田章敬先生	110														
2/12	「健康長寿のカギはここにある！！～腸から若返る～」	京都府立医科大学 大学生体免疫学講座教授 内藤裕二先生	210														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)、災害派遣精神医療チーム(以下「DPAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。 ※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは東濃圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 また、新中央診療棟の整備に合わせて、防災ヘリが離着陸可能なヘリポートを整備するとともに、水害に備えた施設、設備を整備すること。 ※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMAT及びDPATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。 ※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画(BCP)の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。 ※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。 感染症指定医療機関として、平時から患者受入れ体制を整備するとともに、東濃圏域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
13	※ 医療救護活動の拠点機能の 充実 1 医療救護活動の拠点機能の 充実 2 災害拠点病院としての機能 強化	1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・ 災害実動訓練について、発災から本部の立ち上げまでの流れを確認する想定で行い、各職員の役割について再確認した。 ・ 大規模災害時にも通信インフラが途絶えないよう、光回線の経路を冗長化できる機器を導入した。 【災害訓練の実績】 <table><tr><th>訓練内容</th><th>開催日</th><th>備考</th></tr><tr><td>災害実働訓練</td><td>2/28</td><td>・ 災害対策本部ロジ ティクス向け初動訓 練</td></tr><tr><td rowspan="2">消防訓練</td><td>10/3</td><td>・ 中西病棟における 初期消火・通報・避 難誘導訓練</td></tr><tr><td>3/29</td><td>・ 施設管理部門に て、新中央診療棟に おける通報・初期消 火・避難経路の確認</td></tr></table>	訓練内容	開催日	備考	災害実働訓練	2/28	・ 災害対策本部ロジ ティクス向け初動訓 練	消防訓練	10/3	・ 中西病棟における 初期消火・通報・避 難誘導訓練	3/29	・ 施設管理部門に て、新中央診療棟に おける通報・初期消 火・避難経路の確認		IV	岐阜県防災ヘリコプターが離発着可能なヘリポートの整備等を評価。
訓練内容	開催日	備考														
災害実働訓練	2/28	・ 災害対策本部ロジ ティクス向け初動訓 練														
消防訓練	10/3	・ 中西病棟における 初期消火・通報・避 難誘導訓練														
	3/29	・ 施設管理部門に て、新中央診療棟に おける通報・初期消 火・避難経路の確認														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由															
		2 災害拠点病院としての機能強化 ・ 新中央診療棟の整備について、免震構造としたほか、水害対策として放射線機器の多くを2階に設置した。 ・ 岐阜県防災ヘリコプターが離発着可能な耐荷重性能を備えたヘリポートを、新中央診療棟の屋上階に整備した。 ・ 災害時を想定したインフラ強化と省エネを目的に都市ガスを燃料とする自家発電設備（ガスコージェネレーションシステム）を新中央診療棟建設に併せて増設した。																		
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMAT及びDPATの質の向上と維持 2 大規模災害発生時のDMAT及びDPATの派遣	1 DMAT及びDPATの質の向上と維持 ・ 10月に山梨県で実施された、中部ブロックDMAT実動訓練に5名が参加した。 2 大規模災害発生時のDMAT及びDPATの派遣 ・ 令和6年能登半島地震の被災地へDMAT及びDPATを派遣した。 【派遣状況】 <table><tr><th>派遣期間</th><th>派遣状況</th><th>派遣先</th></tr><tr><td>1/2～4</td><td>DMAT 5人</td><td>輪島市</td></tr><tr><td>1/16～22</td><td>DPAT 4人</td><td>輪島市</td></tr><tr><td>1/22～26</td><td>DMAT 5人</td><td>輪島市</td></tr><tr><td>1/28～2/1</td><td>DMAT 5人</td><td>輪島市</td></tr></table>	派遣期間	派遣状況	派遣先	1/2～4	DMAT 5人	輪島市	1/16～22	DPAT 4人	輪島市	1/22～26	DMAT 5人	輪島市	1/28～2/1	DMAT 5人	輪島市		Ⅳ	令和6年能登半島地震へのDMAT、DPAT派遣実績を評価。
派遣期間	派遣状況	派遣先																		
1/2～4	DMAT 5人	輪島市																		
1/16～22	DPAT 4人	輪島市																		
1/22～26	DMAT 5人	輪島市																		
1/28～2/1	DMAT 5人	輪島市																		
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理		1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・ 新中央診療棟建設後や東病棟改修を踏まえた、業務継続計画の見直しを進めた。 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・ 遠隔地や院内に世代別管理されている、バックアップデータの動作確認を行った。	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。															

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 - 管轄保健所と協力して、新型インフルエンザ等感染症の受け入れに係る実地訓練を実施した。 - 個人防護具等の在庫について、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、在庫確保量を見直し県で30日分備蓄見込みであることを考慮し、院内で30日分確保した。 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 - AST／ICT通信を隔月で発行し、職員へ情報提供を行った。また、感染対策講演会をeラーニングで年2回開催し、職員の感染対策に対する意識向上を図った。 3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 - 感染症指定医療機関及び感染向上対策加算算定病院として、近隣の医療機関や保健所と連携し、感染症に係る情報共有や感染対策の支援ができる体制整備を行った。 - 東濃地区の医療機関とのカンファレンスを年4回実施し、感染症に係る感染対策や治療等について情報交換を行い、施設等からの質問に対応した。		IV	感染指定医療機関としての各種対応を評価。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 組織体制の充実 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。 ※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。 ※ 人事評価システムの運用 人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。 ※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。 ※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。 ※ 適切な情報管理 職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。	

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
17	※ 組織体制の充実 1 組織体制の充実 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実	1 組織体制の充実 - 診療の更なる充実を図るため、診療科を新設した。 【内科系】不整脈科 【外科系】内視鏡外科・肝胆膵外科 3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 - 電子カルテの情報をスマートフォンで閲覧し、チャットでコミュニケーションが可能なシステム導入の検討を行い、先進病院の視察を行った。 11月から電子処方箋サービスの運用を開始した。	2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 一部病棟で看護補助業務委託を実施しており、引き続き安定的な委託業務の遂行を促す。	III	組織体制の充実等については、平年並みの実績と評価。
18	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 各診療部門の状況や患者動向の変化に迅速かつ柔軟に対応できるよう、医師、看護師の配置について弾力的運用を行った。	III	人員の配置、採用等については概ね平年並みと評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			2 効果的な体制による医療の提供 - 看護師や臨床検査技師、医師事務作業補助者等、多職種の非常勤職員（派遣職員 7 名を含む）を 51 名採用した。 - 定年再雇用者は 10 名採用した。 - 医師事務作業補助者を 32 名配置しており、医師の負担軽減を図った。		
19	※ 人事評価システムの運用 1 人事評価システムの運用		1 人事評価システムの運用 目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。	III	例年どおりの運用であり、平年並みと評価。
20	※ 事務部門の専門性の向上 1 事務部門職員の確保及び育成		1 事務部門職員の確保及び育成 - 事務局職員研修体系に基づき、対象者 15 名が、上半期、下半期でそれぞれ 1 講座受講し、各階層に必要とされるスキル及び専門性の向上を図った。 - DPC コーディング業務について、引き続き職員で行い、診療内容に最も適した DPC が選択できるよう、適切なコーディングに努めた。 - 医療情報技師等の資格取得や更新を支援し、3 名が資格を取得した。	III	事務部門職員の確保、育成については概ね平年並みと評価。
21	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 - 新規採用オリエンテーション時に、服務と倫理について、関係法令、規則、規程の説明を行った。 - コンプライアンス研修として、個人情報保護とハラスメント防止について動画による研修を実施した。 - 監事監査を毎月実施し、適正な業務執行の確認体制を継続した。 - 委託業務評価について抽出で実施し、業務が適切に実施されているか確認を行い、業務の改善、向上を図った。 - 内部統制について、監査法人と委託契約を締結し、昨年度に識別されたリスクへの対応状況や、収益認識基準の導入における内部統制への影響、令和 6 年度の取り組みについて取りまとめ、内部統制委員会、リスク管理委員会へ報告し、リスク等の共有を図った。		IV	コンプライアンス研修の実施回数の増加など取り組みを評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催期間</th><th>講師・演題等</th><th>参加者</th></tr><tr><td>R5. 4. 1</td><td>総務課長 小栗丈彦 『服務と倫理』</td><td>新規採用者</td></tr><tr><td>R5. 11 ～ R6. 1</td><td>動画視聴『個人情報・プライバシー』</td><td>全職員</td></tr><tr><td>R5. 12 ～ R6. 1</td><td>厚生労働省オンライン研修『ハラスメント研修』</td><td>全職員</td></tr></table>	開催期間	講師・演題等	参加者	R5. 4. 1	総務課長 小栗丈彦 『服務と倫理』	新規採用者	R5. 11 ～ R6. 1	動画視聴『個人情報・プライバシー』	全職員	R5. 12 ～ R6. 1	厚生労働省オンライン研修『ハラスメント研修』	全職員			
開催期間	講師・演題等	参加者															
R5. 4. 1	総務課長 小栗丈彦 『服務と倫理』	新規採用者															
R5. 11 ～ R6. 1	動画視聴『個人情報・プライバシー』	全職員															
R5. 12 ～ R6. 1	厚生労働省オンライン研修『ハラスメント研修』	全職員															
22	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意識向上	1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・ 無線LANコントローラーについて、新中央診療棟のネットワーク工事に合わせ、セキュリティレベルの高いものに更新するなど対策を強化した。 ・ 無線LANのアクセスポイントについて、不具合が発生した箇所に臨時のアクセスポイントを設置するなどの対応を行った。 ・ ネットワークの監視システムについて、リモートにより即時対応が可能な体制を構築した。	2 情報セキュリティに対する意識向上 ・ 院内メールの掲示板等で情報セキュリティに係る啓発を実施した。	IV	情報セキュリティ対策の充実ぶりを評価。												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
23	※ 多様な契約手法の導入 1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施	1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 - 新中央診療棟の建設にあたり、物品調達や業務委託の性質に合わせ効果的な手法を選択し、価格を抑制しつつ品質の確保が可能な調達を図った。 - 高度医療機器について、契約期間満了後に所有権が病院に移るリース契約や、購入後のメンテナンス費用も含めた複数年契約を採用するなど多様な契約手法を導入した。 - 原則2機種以上での比較検討やベンチマークを利用し、整備費用の縮減を図った。 - 全国300を超える病院で構成する共同購入組織に加入し、診療材料の共同購入により、昨年度より1,100万円多い、年間4,400万円の削減効果を得た。		IV	新中央診療棟関連の契約について、多様な契約手法を導入した実績を評価。
24	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応	3 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 - 診療密度の向上や入院期間のチェック、適正なDPCコーディングを実施し、来年度のDPC特定病院群を維持した。 - 外部コンサルタントによる分析や点検結果の提供を受け、診療報酬委員会でフィードバックを行い、院内で共有した。 - 来年度の診療報酬改定に向け、各部門と連携し診療報酬の変更や新設に対応できるよう取り組んだ。	1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 - 東濃情報交流会や各種会議、他職種を交えたカンファレンス、行政訪問等を活用して連携強化に取り組み、患者の早期退院に繋がった。 - 開業医への訪問活動は18件と昨年度より8件増加し、高度医療機器の利用に向け、積極的なPR活動を実施した。 - 県の個別経営コンサルタント事業に参加し、経営における問題点等について把握した。 - 新しい原価計算方法について引き続き検討した。また、収益と費用の状況を継続的に注視した。	III	未収金の発生防止等継続的に取り組んでいるが、未収金額が増えており平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																		
			【病床管理状況】 <table><tr><th colspan="2">項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td colspan="2">新規入院患者(単位:人)</td><td>14,654</td><td>13,123</td><td>13,966</td></tr><tr><td colspan="2">延入院患者(単位:人)</td><td>165,889</td><td>148,961</td><td>159,465</td></tr><tr><td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td><td>全体</td><td>10.3</td><td>10.4</td><td>10.4</td></tr><tr><td>一般</td><td>9.9</td><td>10.1</td><td>10.2</td></tr><tr><td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td><td>全体</td><td>71,960</td><td>76,556</td><td>78,220</td></tr><tr><td>一般</td><td>74,227</td><td>78,616</td><td>79,931</td></tr></table> <table><tr><th colspan="2">項目\年度</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td colspan="2">新規入院患者(単位:人)</td><td>13,159</td><td>12,563</td></tr><tr><td colspan="2">延入院患者(単位:人)</td><td>144,878</td><td>139,020</td></tr><tr><td rowspan="2">平均在院日数 (単位:日)</td><td>全体</td><td>10.0</td><td>10.1</td></tr><tr><td>一般</td><td>9.8</td><td>9.8</td></tr><tr><td rowspan="2">一人当たり 入院単価 (単位:円)</td><td>全体</td><td>83,559</td><td>85,168</td></tr><tr><td>一般</td><td>85,072</td><td>87,192</td></tr></table> (参考) <table><tr><th colspan="2">項目\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td colspan="2">一日当たり外来患者数 (単位:人)</td><td>1,128</td><td>1,015</td><td>1,068</td></tr><tr><td colspan="2">一人当たり外来単価 (単位:円)</td><td>19,638</td><td>21,851</td><td>21,346</td></tr></table> <table><tr><th colspan="2">項目\年度</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td colspan="2">一日当たり外来患者数 (単位:人)</td><td>1,086</td><td>1,057</td></tr></table>	項目\年度		R1	R2	R3	新規入院患者(単位:人)		14,654	13,123	13,966	延入院患者(単位:人)		165,889	148,961	159,465	平均在院日数 (単位:日)	全体	10.3	10.4	10.4	一般	9.9	10.1	10.2	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	71,960	76,556	78,220	一般	74,227	78,616	79,931	項目\年度		R4	R5	新規入院患者(単位:人)		13,159	12,563	延入院患者(単位:人)		144,878	139,020	平均在院日数 (単位:日)	全体	10.0	10.1	一般	9.8	9.8	一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	83,559	85,168	一般	85,072	87,192	項目\年度		R1	R2	R3	一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,128	1,015	1,068	一人当たり外来単価 (単位:円)		19,638	21,851	21,346	項目\年度		R4	R5	一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,086	1,057		
項目\年度		R1	R2	R3																																																																																			
新規入院患者(単位:人)		14,654	13,123	13,966																																																																																			
延入院患者(単位:人)		165,889	148,961	159,465																																																																																			
平均在院日数 (単位:日)	全体	10.3	10.4	10.4																																																																																			
	一般	9.9	10.1	10.2																																																																																			
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	71,960	76,556	78,220																																																																																			
	一般	74,227	78,616	79,931																																																																																			
項目\年度		R4	R5																																																																																				
新規入院患者(単位:人)		13,159	12,563																																																																																				
延入院患者(単位:人)		144,878	139,020																																																																																				
平均在院日数 (単位:日)	全体	10.0	10.1																																																																																				
	一般	9.8	9.8																																																																																				
一人当たり 入院単価 (単位:円)	全体	83,559	85,168																																																																																				
	一般	85,072	87,192																																																																																				
項目\年度		R1	R2	R3																																																																																			
一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,128	1,015	1,068																																																																																			
一人当たり外来単価 (単位:円)		19,638	21,851	21,346																																																																																			
項目\年度		R4	R5																																																																																				
一日当たり外来患者数 (単位:人)		1,086	1,057																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																													
			<table><tr><td>一人当たり外来単価 (単位：円)</td><td>21,602</td><td>23,580</td></tr></table> 2 未収金の発生防止対策等 - 未収が発生する可能性がある患者について、事前に医事担当や医療相談担当、各市の行政担当者と連携を図り、未収防止に努めた。 - 診療費の回収を行うため、担当者2名による催促、督促、分納相談を実施し、事案によっては弁護士に委託した。 【未収金の発生状況】 (各年度末時点※) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R1</th><th colspan="2">R2</th><th colspan="2">R3</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>281</td><td>21,386</td><td>317</td><td>22,013</td><td>329</td><td>26,200</td></tr><tr><td>現年分</td><td>511</td><td>22,485</td><td>518</td><td>23,564</td><td>574</td><td>22,152</td></tr><tr><td>合計</td><td>792</td><td>43,871</td><td>835</td><td>45,577</td><td>903</td><td>48,352</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R4</th><th colspan="2">R5</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>440</td><td>30,794</td><td>548</td><td>34,151</td></tr><tr><td>現年分</td><td>572</td><td>35,590</td><td>509</td><td>53,825</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,012</td><td>66,384</td><td>1,057</td><td>87,976</td></tr></table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く	一人当たり外来単価 (単位：円)	21,602	23,580		R1		R2		R3		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200	現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152	合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352		R4		R5		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	440	30,794	548	34,151	現年分	572	35,590	509	53,825	合計	1,012	66,384	1,057	87,976		
一人当たり外来単価 (単位：円)	21,602	23,580																																																																
	R1		R2		R3																																																													
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																												
過年分	281	21,386	317	22,013	329	26,200																																																												
現年分	511	22,485	518	23,564	574	22,152																																																												
合計	792	43,871	835	45,577	903	48,352																																																												
	R4		R5																																																															
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																														
過年分	440	30,794	548	34,151																																																														
現年分	572	35,590	509	53,825																																																														
合計	1,012	66,384	1,057	87,976																																																														
25	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品の使用促進	2 後発医薬品の使用促進 年度平均で後発医薬品の使用率は93.17%となり、後発医薬品使用体制加算Ⅰの要件となる使用率90%以上を確保した。 【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：％ <table><tr><th>区分＼年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>数量ベース</td><td>91.89</td><td>89.89</td><td>90.63</td><td>89.79</td><td>93.17</td></tr></table>	区分＼年度	R1	R2	R3	R4	R5	数量ベース	91.89	89.89	90.63	89.79	93.17	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 - 全国300を超える病院で構成する共同購入組織に加入し、診療材料の共同購入により、昨年度より1,100万円多い、年間約4,400万円の削減効果を得た。 - 薬品について、薬価交渉を行い年間約2,280万円の削減効果を得た。	Ⅲ	医薬品・材料費の節減等、継続的な取組が実施できているが、材料費比率の改善には繋がっておらず、平年並みの実績と評価。																																																	
区分＼年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																													
数量ベース	91.89	89.89	90.63	89.79	93.17																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																													
			【医薬収益に対する材料費比率】単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>17.77</td><td>18.5</td><td>18.5</td><td>20.3</td><td>21.4</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>10.73</td><td>10.9</td><td>11.1</td><td>11.6</td><td>12.2</td></tr><tr><td>材料費全体</td><td>28.58</td><td>29.5</td><td>29.8</td><td>31.9</td><td>33.7</td></tr></table> 【薬品費及び診療材料費】単位：千円 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>3,153,092</td><td>3,142,369</td><td>3,410,882</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>1,903,765</td><td>1,850,991</td><td>2,048,555</td></tr></table> <table><tr><th>区分\年度</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>3,688,839</td><td>3,911,475</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>2,092,256</td><td>2,224,529</td></tr></table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	薬品費	17.77	18.5	18.5	20.3	21.4	診療材料費	10.73	10.9	11.1	11.6	12.2	材料費全体	28.58	29.5	29.8	31.9	33.7	区分\年度	R1	R2	R3	薬品費	3,153,092	3,142,369	3,410,882	診療材料費	1,903,765	1,850,991	2,048,555	区分\年度	R4	R5	薬品費	3,688,839	3,911,475	診療材料費	2,092,256	2,224,529		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																													
薬品費	17.77	18.5	18.5	20.3	21.4																																													
診療材料費	10.73	10.9	11.1	11.6	12.2																																													
材料費全体	28.58	29.5	29.8	31.9	33.7																																													
区分\年度	R1	R2	R3																																															
薬品費	3,153,092	3,142,369	3,410,882																																															
診療材料費	1,903,765	1,850,991	2,048,555																																															
区分\年度	R4	R5																																																
薬品費	3,688,839	3,911,475																																																
診療材料費	2,092,256	2,224,529																																																
過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況																																																		

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率 100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																								
26	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率 100%以上、医業収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 50%以下を目指す。		・ 補助金等収益の減、薬品費、診療材料費、控除対象外消費税等の増により、経常収支比率 85.2%となった。また、職員給与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>経常収支</td><td>95.5</td><td>97.1</td><td>99.5</td><td>96.8</td><td>85.2</td></tr><tr><td>職員給与費</td><td>54.4</td><td>58.0</td><td>53.0</td><td>54.2</td><td>53.5</td></tr></table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	経常収支	95.5	97.1	99.5	96.8	85.2	職員給与費	54.4	58.0	53.0	54.2	53.5	Ⅱ	5年連続の赤字を計上した。																																																						
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																																								
経常収支	95.5	97.1	99.5	96.8	85.2																																																																								
職員給与費	54.4	58.0	53.0	54.2	53.5																																																																								
1	予算 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>21,235</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>19,669</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,474</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>92</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>104</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>33</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>71</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>10,497</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>10,171</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>308</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>17</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>31,835</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>20,023</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>19,321</td></tr></table>	区 分	金 額	収入		営業収益	21,235	医業収益	19,669	運営費負担金収益	1,474	その他営業収益	92	営業外収益	104	運営費負担金収益	33	その他営業外収益	71	資本収入	10,497	長期借入金	10,171	運営費負担金	308	その他資本収入	17	その他の収入	0	計	31,835	支出		営業費用	20,023	医業費用	19,321		1 決算 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>21,949</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>20,112</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,478</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>359</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>124</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>30</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>94</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>10,431</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>10,134</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>275</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>22</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>32,504</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>20,515</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>19,806</td></tr></table>	区 分	金 額	収入		営業収益	21,949	医業収益	20,112	運営費負担金収益	1,478	その他営業収益	359	営業外収益	124	運営費負担金収益	30	その他営業外収益	94	資本収入	10,431	長期借入金	10,134	運営費負担金	275	その他資本収入	22	その他の収入	0	計	32,504	支出		営業費用	20,515	医業費用	19,806		
区 分	金 額																																																																												
収入																																																																													
営業収益	21,235																																																																												
医業収益	19,669																																																																												
運営費負担金収益	1,474																																																																												
その他営業収益	92																																																																												
営業外収益	104																																																																												
運営費負担金収益	33																																																																												
その他営業外収益	71																																																																												
資本収入	10,497																																																																												
長期借入金	10,171																																																																												
運営費負担金	308																																																																												
その他資本収入	17																																																																												
その他の収入	0																																																																												
計	31,835																																																																												
支出																																																																													
営業費用	20,023																																																																												
医業費用	19,321																																																																												
区 分	金 額																																																																												
収入																																																																													
営業収益	21,949																																																																												
医業収益	20,112																																																																												
運営費負担金収益	1,478																																																																												
その他営業収益	359																																																																												
営業外収益	124																																																																												
運営費負担金収益	30																																																																												
その他営業外収益	94																																																																												
資本収入	10,431																																																																												
長期借入金	10,134																																																																												
運営費負担金	275																																																																												
その他資本収入	22																																																																												
その他の収入	0																																																																												
計	32,504																																																																												
支出																																																																													
営業費用	20,515																																																																												
医業費用	19,806																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																													
	<table><tr><td rowspan="15"></td><td>給与費</td><td>9, 6 3 7</td></tr><tr><td>材料費</td><td>6, 0 6 0</td></tr><tr><td>経費</td><td>3, 5 5 6</td></tr><tr><td>研究研修費</td><td>6 8</td></tr><tr><td>一般管理費</td><td>7 0 2</td></tr><tr><td>給与費</td><td>4 8 7</td></tr><tr><td>経費</td><td>2 1 5</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>1 1 6</td></tr><tr><td>資本支出</td><td>1 6, 5 4 1</td></tr><tr><td>建設改良費</td><td>1 6, 0 7 4</td></tr><tr><td>償還金</td><td>4 4 7</td></tr><tr><td>その他資本支出</td><td>2 0</td></tr><tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>3 6, 6 8 0</td></tr></table> (注記 略)		給与費	9, 6 3 7	材料費	6, 0 6 0	経費	3, 5 5 6	研究研修費	6 8	一般管理費	7 0 2	給与費	4 8 7	経費	2 1 5	営業外費用	1 1 6	資本支出	1 6, 5 4 1	建設改良費	1 6, 0 7 4	償還金	4 4 7	その他資本支出	2 0	その他の支出	0	計	3 6, 6 8 0		<table><tr><td rowspan="15"></td><td>給与費</td><td>9, 3 8 1</td></tr><tr><td>材料費</td><td>6, 7 5 0</td></tr><tr><td>経費</td><td>3, 6 2 1</td></tr><tr><td>研究研修費</td><td>5 4</td></tr><tr><td>一般管理費</td><td>7 0 9</td></tr><tr><td>給与費</td><td>4 4 5</td></tr><tr><td>経費</td><td>2 6 4</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>1 2 9</td></tr><tr><td>資本支出</td><td>1 4, 6 8 2</td></tr><tr><td>建設改良費</td><td>1 4, 2 1 6</td></tr><tr><td>償還金</td><td>4 1 7</td></tr><tr><td>その他資本支出</td><td>4 9</td></tr><tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>3 5, 3 2 6</td></tr></table> (注記 略)		給与費	9, 3 8 1	材料費	6, 7 5 0	経費	3, 6 2 1	研究研修費	5 4	一般管理費	7 0 9	給与費	4 4 5	経費	2 6 4	営業外費用	1 2 9	資本支出	1 4, 6 8 2	建設改良費	1 4, 2 1 6	償還金	4 1 7	その他資本支出	4 9	その他の支出	0	計	3 5, 3 2 6																																					
	給与費		9, 6 3 7																																																																																															
	材料費		6, 0 6 0																																																																																															
	経費		3, 5 5 6																																																																																															
	研究研修費		6 8																																																																																															
	一般管理費		7 0 2																																																																																															
	給与費		4 8 7																																																																																															
	経費		2 1 5																																																																																															
	営業外費用		1 1 6																																																																																															
	資本支出		1 6, 5 4 1																																																																																															
	建設改良費		1 6, 0 7 4																																																																																															
	償還金		4 4 7																																																																																															
	その他資本支出		2 0																																																																																															
	その他の支出		0																																																																																															
	計		3 6, 6 8 0																																																																																															
		給与費	9, 3 8 1																																																																																															
材料費		6, 7 5 0																																																																																																
経費		3, 6 2 1																																																																																																
研究研修費		5 4																																																																																																
一般管理費		7 0 9																																																																																																
給与費		4 4 5																																																																																																
経費		2 6 4																																																																																																
営業外費用		1 2 9																																																																																																
資本支出		1 4, 6 8 2																																																																																																
建設改良費		1 4, 2 1 6																																																																																																
償還金		4 1 7																																																																																																
その他資本支出		4 9																																																																																																
その他の支出		0																																																																																																
計		3 5, 3 2 6																																																																																																
2 収支計画		(単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>2 1, 3 4 6</td></tr><tr><td>営業収益</td><td>2 1, 2 4 9</td></tr><tr><td>医業収益</td><td>1 9, 6 7 8</td></tr><tr><td>運営費負担金収益</td><td>1, 4 7 4</td></tr><tr><td>資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr><tr><td>その他営業収益</td><td>9 1</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>9 7</td></tr><tr><td>運営費負担金収益</td><td>3 3</td></tr><tr><td>その他営業外収益</td><td>6 4</td></tr><tr><td>臨時利益</td><td>0</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>2 3, 2 4 3</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>2 0, 9 5 5</td></tr><tr><td>医業費用</td><td>2 0, 2 3 7</td></tr><tr><td>給与費</td><td>9, 4 3 5</td></tr><tr><td>材料費</td><td>5, 9 9 3</td></tr><tr><td>経費</td><td>3, 2 8 7</td></tr><tr><td>減価償却費</td><td>1, 4 5 9</td></tr><tr><td>研究研修費</td><td>6 3</td></tr><tr><td>一般管理費</td><td>7 1 8</td></tr><tr><td>給与費</td><td>4 8 2</td></tr><tr><td>減価償却費</td><td>4 1</td></tr><tr><td>経費</td><td>1 9 5</td></tr></table>	区 分	金 額	収益の部	2 1, 3 4 6	営業収益	2 1, 2 4 9	医業収益	1 9, 6 7 8	運営費負担金収益	1, 4 7 4	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	9 1	営業外収益	9 7	運営費負担金収益	3 3	その他営業外収益	6 4	臨時利益	0	費用の部	2 3, 2 4 3	営業費用	2 0, 9 5 5	医業費用	2 0, 2 3 7	給与費	9, 4 3 5	材料費	5, 9 9 3	経費	3, 2 8 7	減価償却費	1, 4 5 9	研究研修費	6 3	一般管理費	7 1 8	給与費	4 8 2	減価償却費	4 1	経費	1 9 5		2 収支計画に対する実績	(単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>収益の部</td><td>2 0, 2 0 7</td></tr><tr><td>営業収益</td><td>2 0, 0 8 4</td></tr><tr><td>医業収益</td><td>1 8, 2 5 7</td></tr><tr><td>運営費負担金収益</td><td>1, 4 5 5</td></tr><tr><td>資産見返負債戻入</td><td>6</td></tr><tr><td>その他営業収益</td><td>3 6 6</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>1 2 2</td></tr><tr><td>運営費負担金収益</td><td>3 0</td></tr><tr><td>その他営業外収益</td><td>9 2</td></tr><tr><td>臨時利益</td><td>1</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>2 3, 7 1 7</td></tr><tr><td>営業費用</td><td>2 1, 0 1 7</td></tr><tr><td>医業費用</td><td>2 0, 2 9 2</td></tr><tr><td>給与費</td><td>9, 3 2 4</td></tr><tr><td>材料費</td><td>6, 1 5 9</td></tr><tr><td>経費</td><td>3, 3 2 1</td></tr><tr><td>減価償却費</td><td>1, 4 4 1</td></tr><tr><td>研究研修費</td><td>4 7</td></tr><tr><td>一般管理費</td><td>7 2 5</td></tr><tr><td>給与費</td><td>4 4 5</td></tr><tr><td>減価償却費</td><td>4 1</td></tr><tr><td>経費</td><td>2 3 9</td></tr></table>	区 分	金 額	収益の部	2 0, 2 0 7	営業収益	2 0, 0 8 4	医業収益	1 8, 2 5 7	運営費負担金収益	1, 4 5 5	資産見返負債戻入	6	その他営業収益	3 6 6	営業外収益	1 2 2	運営費負担金収益	3 0	その他営業外収益	9 2	臨時利益	1	費用の部	2 3, 7 1 7	営業費用	2 1, 0 1 7	医業費用	2 0, 2 9 2	給与費	9, 3 2 4	材料費	6, 1 5 9	経費	3, 3 2 1	減価償却費	1, 4 4 1	研究研修費	4 7	一般管理費	7 2 5	給与費	4 4 5	減価償却費	4 1	経費	2 3 9	
区 分	金 額																																																																																																	
収益の部	2 1, 3 4 6																																																																																																	
営業収益	2 1, 2 4 9																																																																																																	
医業収益	1 9, 6 7 8																																																																																																	
運営費負担金収益	1, 4 7 4																																																																																																	
資産見返負債戻入	6																																																																																																	
その他営業収益	9 1																																																																																																	
営業外収益	9 7																																																																																																	
運営費負担金収益	3 3																																																																																																	
その他営業外収益	6 4																																																																																																	
臨時利益	0																																																																																																	
費用の部	2 3, 2 4 3																																																																																																	
営業費用	2 0, 9 5 5																																																																																																	
医業費用	2 0, 2 3 7																																																																																																	
給与費	9, 4 3 5																																																																																																	
材料費	5, 9 9 3																																																																																																	
経費	3, 2 8 7																																																																																																	
減価償却費	1, 4 5 9																																																																																																	
研究研修費	6 3																																																																																																	
一般管理費	7 1 8																																																																																																	
給与費	4 8 2																																																																																																	
減価償却費	4 1																																																																																																	
経費	1 9 5																																																																																																	
区 分	金 額																																																																																																	
収益の部	2 0, 2 0 7																																																																																																	
営業収益	2 0, 0 8 4																																																																																																	
医業収益	1 8, 2 5 7																																																																																																	
運営費負担金収益	1, 4 5 5																																																																																																	
資産見返負債戻入	6																																																																																																	
その他営業収益	3 6 6																																																																																																	
営業外収益	1 2 2																																																																																																	
運営費負担金収益	3 0																																																																																																	
その他営業外収益	9 2																																																																																																	
臨時利益	1																																																																																																	
費用の部	2 3, 7 1 7																																																																																																	
営業費用	2 1, 0 1 7																																																																																																	
医業費用	2 0, 2 9 2																																																																																																	
給与費	9, 3 2 4																																																																																																	
材料費	6, 1 5 9																																																																																																	
経費	3, 3 2 1																																																																																																	
減価償却費	1, 4 4 1																																																																																																	
研究研修費	4 7																																																																																																	
一般管理費	7 2 5																																																																																																	
給与費	4 4 5																																																																																																	
減価償却費	4 1																																																																																																	
経費	2 3 9																																																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	<table><tr><td>営業外費用</td><td>2, 2 8 8</td></tr><tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr><tr><td>予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純損失</td><td>▲1, 8 9 7</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総損失</td><td>▲1, 8 9 7</td></tr></table> (注記 略)	営業外費用	2, 2 8 8	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲1, 8 9 7	目的積立金取崩額	0	総損失	▲1, 8 9 7		<table><tr><td>営業外費用</td><td>2, 7 0 0</td></tr><tr><td>臨時損失</td><td>0</td></tr><tr><td>予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純損失</td><td>▲3, 5 1 0</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総損失</td><td>▲3, 5 1 0</td></tr></table> (注記 略)	営業外費用	2, 7 0 0	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲3, 5 1 0	目的積立金取崩額	0	総損失	▲3, 5 1 0																																																																																		
営業外費用	2, 2 8 8																																																																																																												
臨時損失	0																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲1, 8 9 7																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲1, 8 9 7																																																																																																												
営業外費用	2, 7 0 0																																																																																																												
臨時損失	0																																																																																																												
予備費	0																																																																																																												
純損失	▲3, 5 1 0																																																																																																												
目的積立金取崩額	0																																																																																																												
総損失	▲3, 5 1 0																																																																																																												
	3 資金計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>4 2, 9 2 0</td></tr><tr><td>業務活動による収入</td><td>2 1, 0 6 6</td></tr><tr><td>診療業務による収入</td><td>1 9, 3 9 5</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1, 5 0 7</td></tr><tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>1 6 4</td></tr><tr><td>投資活動による収入</td><td>1 1 2</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>9 4</td></tr><tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>1 8</td></tr><tr><td>財務活動による収入</td><td>1 0, 3 8 5</td></tr><tr><td>長期借入による収入</td><td>1 0, 1 7 1</td></tr><tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>2 1 4</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>1 1, 3 5 7</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>4 2, 9 2 0</td></tr><tr><td>業務活動による支出</td><td>2 0, 5 6 6</td></tr><tr><td>給与費支出</td><td>8, 3 4 1</td></tr><tr><td>材料費支出</td><td>6, 1 7 3</td></tr><tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>6, 0 5 2</td></tr><tr><td>投資活動による支出</td><td>1 5, 4 9 5</td></tr><tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1 5, 4 7 5</td></tr><tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>2 0</td></tr><tr><td>財務活動による支出</td><td>4 4 8</td></tr><tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>3 2 8</td></tr><tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>9 4</td></tr><tr><td>その他財務活動による支出</td><td>2 6</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>6, 4 1 1</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	4 2, 9 2 0	業務活動による収入	2 1, 0 6 6	診療業務による収入	1 9, 3 9 5	運営費負担金による収入	1, 5 0 7	その他の業務活動による収入	1 6 4	投資活動による収入	1 1 2	運営費負担金による収入	9 4	その他の投資活動による収入	1 8	財務活動による収入	1 0, 3 8 5	長期借入による収入	1 0, 1 7 1	その他の財務活動による収入	2 1 4	前事業年度からの繰越金	1 1, 3 5 7	資金支出	4 2, 9 2 0	業務活動による支出	2 0, 5 6 6	給与費支出	8, 3 4 1	材料費支出	6, 1 7 3	その他の業務活動による支出	6, 0 5 2	投資活動による支出	1 5, 4 9 5	有形固定資産の取得による支出	1 5, 4 7 5	その他の投資活動による支出	2 0	財務活動による支出	4 4 8	長期借入金の返済による支出	3 2 8	移前地方債償還義務の償還による支出	9 4	その他財務活動による支出	2 6	翌事業年度への繰越金	6, 4 1 1		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>4 2, 0 3 9</td></tr><tr><td>業務活動による収入</td><td>2 0, 4 8 8</td></tr><tr><td>診療業務による収入</td><td>1 8, 4 8 0</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>1, 4 8 5</td></tr><tr><td>その他の業務活動による収入</td><td>3 2 2</td></tr><tr><td>投資活動による収入</td><td>1 9 0</td></tr><tr><td>運営費負担金による収入</td><td>7 6</td></tr><tr><td>その他の投資活動による収入</td><td>1 1 4</td></tr><tr><td>財務活動による収入</td><td>1 0, 3 3 3</td></tr><tr><td>長期借入による収入</td><td>1 0, 1 3 4</td></tr><tr><td>その他の財務活動による収入</td><td>1 9 9</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>1 1, 0 2 8</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>4 2, 0 3 9</td></tr><tr><td>業務活動による支出</td><td>2 0, 6 9 9</td></tr><tr><td>給与費支出</td><td>7, 9 0 5</td></tr><tr><td>材料費支出</td><td>6, 7 3 5</td></tr><tr><td>その他の業務活動による支出</td><td>6, 0 5 9</td></tr><tr><td>投資活動による支出</td><td>1 2, 7 4 9</td></tr><tr><td>有形固定資産の取得による支出</td><td>1 2, 7 2 5</td></tr><tr><td>その他の投資活動による支出</td><td>2 4</td></tr><tr><td>財務活動による支出</td><td>4 1 5</td></tr><tr><td>長期借入金の返済による支出</td><td>2 9 8</td></tr><tr><td>移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>9 3</td></tr><tr><td>その他財務活動による支出</td><td>2 4</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>8, 1 7 6</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	4 2, 0 3 9	業務活動による収入	2 0, 4 8 8	診療業務による収入	1 8, 4 8 0	運営費負担金による収入	1, 4 8 5	その他の業務活動による収入	3 2 2	投資活動による収入	1 9 0	運営費負担金による収入	7 6	その他の投資活動による収入	1 1 4	財務活動による収入	1 0, 3 3 3	長期借入による収入	1 0, 1 3 4	その他の財務活動による収入	1 9 9	前事業年度からの繰越金	1 1, 0 2 8	資金支出	4 2, 0 3 9	業務活動による支出	2 0, 6 9 9	給与費支出	7, 9 0 5	材料費支出	6, 7 3 5	その他の業務活動による支出	6, 0 5 9	投資活動による支出	1 2, 7 4 9	有形固定資産の取得による支出	1 2, 7 2 5	その他の投資活動による支出	2 4	財務活動による支出	4 1 5	長期借入金の返済による支出	2 9 8	移前地方債償還義務の償還による支出	9 3	その他財務活動による支出	2 4	翌事業年度への繰越金	8, 1 7 6		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	4 2, 9 2 0																																																																																																												
業務活動による収入	2 1, 0 6 6																																																																																																												
診療業務による収入	1 9, 3 9 5																																																																																																												
運営費負担金による収入	1, 5 0 7																																																																																																												
その他の業務活動による収入	1 6 4																																																																																																												
投資活動による収入	1 1 2																																																																																																												
運営費負担金による収入	9 4																																																																																																												
その他の投資活動による収入	1 8																																																																																																												
財務活動による収入	1 0, 3 8 5																																																																																																												
長期借入による収入	1 0, 1 7 1																																																																																																												
その他の財務活動による収入	2 1 4																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	1 1, 3 5 7																																																																																																												
資金支出	4 2, 9 2 0																																																																																																												
業務活動による支出	2 0, 5 6 6																																																																																																												
給与費支出	8, 3 4 1																																																																																																												
材料費支出	6, 1 7 3																																																																																																												
その他の業務活動による支出	6, 0 5 2																																																																																																												
投資活動による支出	1 5, 4 9 5																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1 5, 4 7 5																																																																																																												
その他の投資活動による支出	2 0																																																																																																												
財務活動による支出	4 4 8																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	3 2 8																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	9 4																																																																																																												
その他財務活動による支出	2 6																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	6, 4 1 1																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	4 2, 0 3 9																																																																																																												
業務活動による収入	2 0, 4 8 8																																																																																																												
診療業務による収入	1 8, 4 8 0																																																																																																												
運営費負担金による収入	1, 4 8 5																																																																																																												
その他の業務活動による収入	3 2 2																																																																																																												
投資活動による収入	1 9 0																																																																																																												
運営費負担金による収入	7 6																																																																																																												
その他の投資活動による収入	1 1 4																																																																																																												
財務活動による収入	1 0, 3 3 3																																																																																																												
長期借入による収入	1 0, 1 3 4																																																																																																												
その他の財務活動による収入	1 9 9																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	1 1, 0 2 8																																																																																																												
資金支出	4 2, 0 3 9																																																																																																												
業務活動による支出	2 0, 6 9 9																																																																																																												
給与費支出	7, 9 0 5																																																																																																												
材料費支出	6, 7 3 5																																																																																																												
その他の業務活動による支出	6, 0 5 9																																																																																																												
投資活動による支出	1 2, 7 4 9																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	1 2, 7 2 5																																																																																																												
その他の投資活動による支出	2 4																																																																																																												
財務活動による支出	4 1 5																																																																																																												
長期借入金の返済による支出	2 9 8																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	9 3																																																																																																												
その他財務活動による支出	2 4																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	8, 1 7 6																																																																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	一	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当 該財産の処分に関する計画		・ 該当なし	一	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保 に供しようとするときは、その計 画		・ 該当なし	一	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・該当なし	一	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。			
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。			
	8-3 施設・医療機器の整備	新中央診療棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県立多治見病院として担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。			
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。			
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
27	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・再雇用制度の活用により10人の職員を確保し、就労環境の向上に努めた。また、育児部分休業の活用など、仕事と家庭を両立させるための柔軟な勤務時間体制を推進した結果、育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数は69名となった。 ・働き方改革・職員相談支援室において、職場環境や人間関係等の悩みを相談できる体制を確保しており、看護部についてはナースサポートセンターとして専任の看護師が対応を行った。また、院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行し、相談機能の充実に努めた。 【有給休暇取得率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td><td>44.4</td><td>43.9</td><td>40.1</td><td>44.1</td><td>48.9</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	年次休暇	44.4	43.9	40.1	44.1	48.9		IV	働き方改革会議による長時間労働者の把握や注意喚起、有給休暇取得率の向上等についての取り組みを評価。
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5												
年次休暇	44.4	43.9	40.1	44.1	48.9												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																							
		【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>医師事務作業補助者 （医療クラーク）</td><td>42</td><td>37</td><td>36</td><td>36</td><td>32</td></tr><tr><td>病棟事務補助者 （看護クラーク）</td><td>19</td><td>18</td><td>18</td><td>13</td><td>18</td></tr><tr><td>合 計</td><td>61</td><td>55</td><td>54</td><td>49</td><td>50</td></tr></table> 【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>39</td><td>40</td><td>55</td><td>61</td><td>69</td></tr></table> 2 働き方改革の実現に向けた取組 ・ 院長、副院長を構成員とする働き方改革会議を毎月開催し、各部門ごとの時間外勤務の状況や、各医師の毎月の時間外勤務の推移を把握した。また、月の長時間労働該当医師の診療科部長に対し文書にて注意喚起を行った。 ・ 年休取得5日未満の職員への取得促進に係る注意喚起を各所属に行った。 ・ 働き方改革検討委員会にて、医師の働き方改革、勤務時間短縮計画について協議を行った。 ・ 前期定期健康診断とあわせて、「ストレスチェック」を全職員対象に実施した。（受検率 95.4%） ・ 定期健康診断の受診率は 99.5%であり、要精密検査等の指示のあった職員へのフォローを実施した。 【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>5</td><td>5</td></tr></table> 【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人 <table><tr><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>110</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>48</td></tr></table> ※令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。また、令和5年度から当日参加できない職員にも配慮し、WEBで後日視聴が可能となるようにした。	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	医師事務作業補助者 （医療クラーク）	42	37	36	36	32	病棟事務補助者 （看護クラーク）	19	18	18	13	18	合 計	61	55	54	49	50	区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5	利用者数	39	40	55	61	69	R1	R2	R3	R4	R5	7	8	9	5	5	R1	R2	R3	R4	R5	110	—	—	—	48		
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																							
医師事務作業補助者 （医療クラーク）	42	37	36	36	32																																																							
病棟事務補助者 （看護クラーク）	19	18	18	13	18																																																							
合 計	61	55	54	49	50																																																							
区分\年度	R1	R2	R3	R4	R5																																																							
利用者数	39	40	55	61	69																																																							
R1	R2	R3	R4	R5																																																								
7	8	9	5	5																																																								
R1	R2	R3	R4	R5																																																								
110	—	—	—	48																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																			
		3 職員のモチベーション向上に資する取組 ・ 夜間看護割増手当を新設し、モチベーションの向上に努めた。																																																																						
28	※ 岐阜県及び他の地方独立行政 法人との連携に関する事項 1 県との連携・強化 2 他の地方独立行政法人との連 携・強化		1 県との連携・強化 ・ 岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護 師等を専任教員または非常勤講師として派遣し、同校との 連携の強化に努めた。 ・ 新中央診療棟の整備について、県と緊密に連携し適時適 切な財政支援を受けた。 2 他の地方独立行政法人との連携・強化 ・ 公立病院経営強化プランについて、県が示したフォーマ ットに従い、他病院の状況を確認しながら策定した。	Ⅲ	県との連携強化は推進し たが、他の地方独立行政 法人との連携強化はなか ったため平年並みと評 価。																																																																			
29	※ 施設・医療機器の整備に関する 事項 1 新中央診療棟などの施設の計 画的な整備 2 医療機器の計画的な更新・整備	1 新中央診療棟などの施設の計画的な整備 ・ 新中央診療棟建設工事は、天候不良や資材調達の難航等により 当初の予定から1カ月遅れたが、1月25日に竣工した。 ・ 新中央診療棟への機能移転の準備を行い、開設に向けて取り組 んだ。 2 医療機器の計画的な更新・整備 ・ 新中央診療棟整備に伴い必要となる医療機器について、院内の 各部門とヒアリングを実施し、医療需要、費用対効果、医療技術 の進展等を総合的に判断し、リース等の手法を活用しながら計画 的な更新、整備を行った。また、複数診療科による医療機器の共 同利用を推進することで、現有機器の有効活用を図った。 【総投資額】 (単位：百万円) <table><tr><th>区分</th><th></th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td rowspan="7">新 棟 建 設</td><td>建築工事</td><td>—</td><td>—</td><td>700</td><td>2,814</td><td>4,942</td></tr><tr><td>電気設備工事</td><td>—</td><td>—</td><td>0</td><td>0</td><td>2,204</td></tr><tr><td>空調設備工事</td><td>—</td><td>—</td><td>0</td><td>119</td><td>2,238</td></tr><tr><td>衛生設備工事</td><td>—</td><td>—</td><td>0</td><td>0</td><td>1,621</td></tr><tr><td>エレベーター設備</td><td>—</td><td>—</td><td>0</td><td>0</td><td>91</td></tr><tr><td>工事監理</td><td>—</td><td>—</td><td>30</td><td>52</td><td>39</td></tr><tr><td>小 計</td><td>—</td><td>—</td><td>730</td><td>2,985</td><td>11,135</td></tr><tr><td>医療機器等整備</td><td>260</td><td>562</td><td>358</td><td>184</td><td>3,510</td></tr><tr><td>施設等整備</td><td>115</td><td>101</td><td>100</td><td>145</td><td>47</td></tr><tr><td>合 計</td><td>375</td><td>663</td><td>1,188</td><td>3,314</td><td>14,692</td></tr></table>	区分		R1	R2	R3	R4	R5	新 棟 建 設	建築工事	—	—	700	2,814	4,942	電気設備工事	—	—	0	0	2,204	空調設備工事	—	—	0	119	2,238	衛生設備工事	—	—	0	0	1,621	エレベーター設備	—	—	0	0	91	工事監理	—	—	30	52	39	小 計	—	—	730	2,985	11,135	医療機器等整備	260	562	358	184	3,510	施設等整備	115	101	100	145	47	合 計	375	663	1,188	3,314	14,692	Ⅳ	新中央診療棟が無事竣工 したことを評価。
区分		R1	R2	R3	R4	R5																																																																		
新 棟 建 設	建築工事	—	—	700	2,814	4,942																																																																		
	電気設備工事	—	—	0	0	2,204																																																																		
	空調設備工事	—	—	0	119	2,238																																																																		
	衛生設備工事	—	—	0	0	1,621																																																																		
	エレベーター設備	—	—	0	0	91																																																																		
	工事監理	—	—	30	52	39																																																																		
	小 計	—	—	730	2,985	11,135																																																																		
医療機器等整備	260	562	358	184	3,510																																																																			
施設等整備	115	101	100	145	47																																																																			
合 計	375	663	1,188	3,314	14,692																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																						
30	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の取組 ・ 内部統制委員会、リスク管理委員会を3月に開催し、昨年度に識別されたリスクへの対応状況等について報告し、リスク等の共有を図った。 2 内部統制に対する監査及び評価 ・ 昨年度に識別されたリスクへの対応状況や、収益認識基準の導入における内部統制への影響、令和6年度の取り組みについて取りまとめ、内部統制委員会、リスク管理委員会へ報告し、リスク等の共有を図った。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・ 災害時情報収集システムを使用した訓練や、災害を想定したシナリオでクロノロジー訓練を実施し、より正確に情報収集を行う体制を整えた。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																						
31	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		・ 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 【企業債償還額(元本)】(単位:百万円) <table><tr><th>償還月</th><th>金 額</th></tr><tr><td>9 月</td><td>196</td></tr><tr><td>3 月</td><td>196</td></tr><tr><td>計</td><td>392</td></tr></table> 【債務の償還状況(合計)】(単位:百万円) <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第1期中期計画期間計</td><td>3,603</td></tr><tr><td>第2期中期計画期間計</td><td>2,634</td></tr><tr><td>R 2</td><td>527</td></tr><tr><td>R 3</td><td>448</td></tr><tr><td>R 4</td><td>525</td></tr><tr><td>R 5</td><td>392</td></tr></table>	償還月	金 額	9 月	196	3 月	196	計	392	年度	実績	第1期中期計画期間計	3,603	第2期中期計画期間計	2,634	R 2	527	R 3	448	R 4	525	R 5	392	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金 額																										
9 月	196																										
3 月	196																										
計	392																										
年度	実績																										
第1期中期計画期間計	3,603																										
第2期中期計画期間計	2,634																										
R 2	527																										
R 3	448																										
R 4	525																										
R 5	392																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
			(内訳) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円) <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第1 期中期計画期間計</td><td>3,211</td></tr><tr><td>第2 期中期計画期間計</td><td>1,485</td></tr><tr><td>R 2</td><td>167</td></tr><tr><td>R 3</td><td>90</td></tr><tr><td>R 4</td><td>91</td></tr><tr><td>R 5</td><td>94</td></tr></table> 長期借入金償還額 (単位：百万円) <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第1 期中期計画期間計</td><td>392</td></tr><tr><td>第2 期中期計画期間計</td><td>1,149</td></tr><tr><td>R 2</td><td>360</td></tr><tr><td>R 3</td><td>358</td></tr><tr><td>R 4</td><td>434</td></tr><tr><td>R 5</td><td>298</td></tr></table>	年度	実績	第1 期中期計画期間計	3,211	第2 期中期計画期間計	1,485	R 2	167	R 3	90	R 4	91	R 5	94	年度	実績	第1 期中期計画期間計	392	第2 期中期計画期間計	1,149	R 2	360	R 3	358	R 4	434	R 5	298		
年度	実績																																
第1 期中期計画期間計	3,211																																
第2 期中期計画期間計	1,485																																
R 2	167																																
R 3	90																																
R 4	91																																
R 5	94																																
年度	実績																																
第1 期中期計画期間計	392																																
第2 期中期計画期間計	1,149																																
R 2	360																																
R 3	358																																
R 4	434																																
R 5	298																																
32	※ 中期目標の期間における主な計画数値	令和5年度計画における主な計画数値 <table><tr><th>主な目標・計画</th><th>年度目標</th></tr><tr><td>新中央診療棟の整備</td><td>1 2月末に竣工</td></tr><tr><td>入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）</td><td>新規入院 39.0 人 外来 1,100 人</td></tr><tr><td>手術件数（年間）</td><td>手術室 4,600 件 中央放射線・内視鏡 3,300 件</td></tr><tr><td>高精度放射線治療患者数（年間）</td><td>470 人</td></tr><tr><td>DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率 （年間）</td><td>80.0%</td></tr></table>	主な目標・計画	年度目標	新中央診療棟の整備	1 2月末に竣工	入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）	新規入院 39.0 人 外来 1,100 人	手術件数（年間）	手術室 4,600 件 中央放射線・内視鏡 3,300 件	高精度放射線治療患者数（年間）	470 人	DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率 （年間）	80.0%	左記計画数値に対する実績 <table><tr><th>主な目標・計画</th><th>年度実績</th></tr><tr><td>新中央診療棟の整備</td><td>令和6年1月25日竣工</td></tr><tr><td>入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）</td><td>新規入院 34.4 人 外来 1,057 人</td></tr><tr><td>手術件数（年間）</td><td>手術室 4,816 件 中央放射線・内視鏡 3,431 件</td></tr><tr><td>高精度放射線治療患者数 （年間）</td><td>402 人</td></tr><tr><td>D P C 病床での入院期間 Ⅰ・Ⅱ以内の退院患者比率 （年間）</td><td>78.1%</td></tr></table>	主な目標・計画	年度実績	新中央診療棟の整備	令和6年1月25日竣工	入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）	新規入院 34.4 人 外来 1,057 人	手術件数（年間）	手術室 4,816 件 中央放射線・内視鏡 3,431 件	高精度放射線治療患者数 （年間）	402 人	D P C 病床での入院期間 Ⅰ・Ⅱ以内の退院患者比率 （年間）	78.1%	Ⅲ	達成された目標がある一方で、未達成となった項目もあった。				
主な目標・計画	年度目標																																
新中央診療棟の整備	1 2月末に竣工																																
入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）	新規入院 39.0 人 外来 1,100 人																																
手術件数（年間）	手術室 4,600 件 中央放射線・内視鏡 3,300 件																																
高精度放射線治療患者数（年間）	470 人																																
DPC病床での入院期間Ⅰ・Ⅱ 以内の退院患者比率 （年間）	80.0%																																
主な目標・計画	年度実績																																
新中央診療棟の整備	令和6年1月25日竣工																																
入院患者数（1日平均） 外来患者数（1日平均）	新規入院 34.4 人 外来 1,057 人																																
手術件数（年間）	手術室 4,816 件 中央放射線・内視鏡 3,431 件																																
高精度放射線治療患者数 （年間）	402 人																																
D P C 病床での入院期間 Ⅰ・Ⅱ以内の退院患者比率 （年間）	78.1%																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 5年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況		その他の主な取組／課題及びその改善策(●)		自己 評価	自己評価理由
		病床利用率（全病床・年間）	80.0%	病床利用率（全病床・年間）	73.0%		
		紹介率・逆紹介率（年間）	紹介率 80.0% 逆紹介率 90.0%	紹介率・逆紹介率（年間）	紹介率 74.8% 逆紹介率 98.2%		
		患者満足度（調査期間）	外来 90.0% 入院 97.0%	患者満足度（調査期間）	外来 81.8% 入院 95.8%		
		後発医薬品使用率（数量ベース）	92.0%	後発医薬品使用率（数量ベース）	93.17%		
33	※ 積立金の使途			前期中期目標期間における積立金については、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てた。		Ⅲ	計画に則って積立金を病院施設の整備、医療機器の購入等に充てた。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況